

・大気環境

大 気

本市では、市域における大気環境を把握するため、市役所に自動車排ガス測定局を設置し、常時監視を行っています。

ほかに大阪府が岸和田中央公園局（一般環境測定局）と天の川下水ポンプ場局（自動車排ガス測定局）を設置し、常時監視を行っています。

一般環境測定局（一般局） 大阪府内に 68 局

道路沿道の自動車排ガスによる狭域的な汚染状況のほか、一定の地域代表性を前提として、広域的な汚染状況の把握を目的とするものです。

自動車排ガス測定局（自排局） 大阪府内に 39 局

道路沿道の自動車排ガスによる狭域的な汚染状況を把握するために設置しています。

【測定局及び測定項目】

所管	測定局	種別	SO ₂	NO	NO ₂	CO	NMHC	Ox	SPM
府	岸和田中央公園局	一般局				-	-		
	天の川下水ポンプ場局	自排局	-			~H10			-
市	岸和田市役所局	自排局	~H16					~H16	~H16

また、常時監視のほかに大気中の濃度が低濃度であっても人が長期的に暴露された場合には健康影響が懸念される有害大気汚染物質について平成 13 年度以降測定を行っています。

【測定地点及び測定項目】

測定地点	ベンゼン	トリクロロエチレン (TCE)	テトラクロロエチレン (PCE)	ジクロロメタン (DCM)
野村中学校		H17~	H17~	H17~
八阪町	~H16	-	-	-
三田町	~H14, H18	H18	H18	H18
中央公園	H14	-	-	-
磯ノ上下水処理場	H17	H17	H17	H17

二酸化硫黄 (SO₂)

二酸化硫黄は、工場、事業場、船舶などのボイラーやエンジンなどで使用されている硫黄を含む燃料（重油、軽油、石炭など）が燃焼するとき、燃料中に含まれる硫黄が、空気中の酸素と結合して生成されます。

主要大気汚染物質のひとつとして、また窒素酸化物とともに酸性雨の原因物質として知られています。二酸化硫黄による汚染大気は呼吸器を刺激し、せき、ぜんそく、気管支炎などの障害を引き起こす。代表的な例として、1961年頃より発生した四日市ぜんそくがあげられる。

環境基準

長期的評価

日平均値の2%除外値が0.04ppm以下であり、かつ、日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。

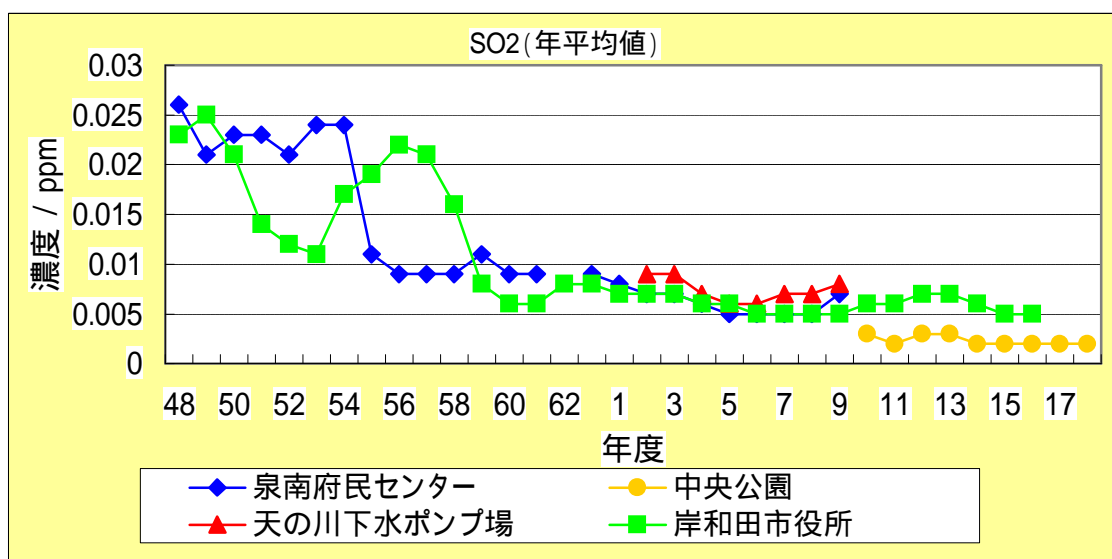
短期的評価

日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。

【環境基準達成状況】

二酸化硫黄を測定している測定局（一般局 56 局、自排局 14 局）において2年連続で環境基準の長期的評価及び短期的評価いずれも環境基準を100%達成しました。

測定局名	種別	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数		環境基準達成状況	
		日	時間	ppm	時間	%	日	%	ppm	ppm	有×無	日	長期	短期	
岸和田中央公園	一般局	353	8364	0.002	0	0	0	0	0.028	0.005		0			



二酸化窒素 (NO₂)

窒素は空気中に約 80%含まれており、また石油などの燃料中にも含まれています。このため、工場や事業場のボイラー（重油、都市ガス等）、自動車のエンジン（ガソリン、軽油等）、家庭のコンロやストーブ（都市ガス、プロパンガス、灯油等）などで燃料等を燃焼させると、その過程で必ず窒素酸化物が発生し、燃焼温度が高温になるほど発生量が多くなります。発生源から大気中に窒素酸化物が排出される段階では、そのほとんどは一酸化窒素が占めていますが、大気中を移動する過程で大気中の酸素と反応して二酸化窒素に酸化されるため、大気中では一酸化窒素と二酸化窒素が共存しています。

二酸化窒素は、呼吸とともに人体に取り込まれ、呼吸器疾患の原因になったりします。また、窒素酸化物は、炭化水素とともに太陽の紫外線により光化学反応を起こして光化学オキシダントを生成し、光化学スモッグの原因ともなります。

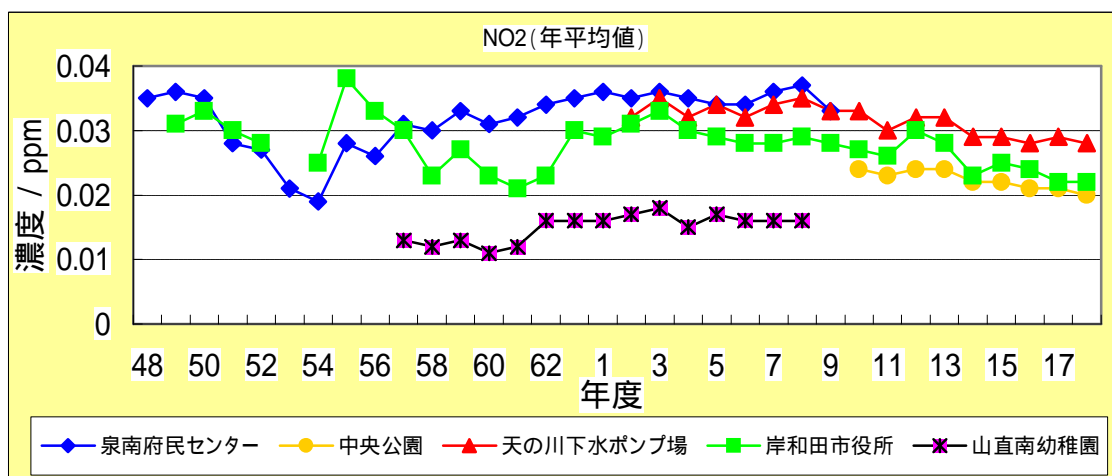
環境基準

日平均値の年間 98%値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内、又はそれ以下であること。

【環境基準達成状況】

窒素酸化物を測定している測定局（一般局 68 局、自排局 39 局）において、一般局は平成 15 年度より環境基準を 100%達成していますが、自排局については平成 18 年度、87.2%の達成にとどまり、平成 17 年度より 5%達成率が減少しました。

測定局名	種別	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合		1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合		日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		日平均値の年間98%値	98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数	環境基準達成状況
		日	時間	ppm	ppm	時間	%	時間	%	日	%	日	%	ppm	日	
岸和田中央公園	一般局	365	8675	0.02	0.093	0	0	0	0	0	0	12	3.3	0.045	0	
天の川下水ポンプ場	自排局	362	8547	0.028	0.099	0	0	0	0	0	0	50	13.8	0.053	0	
岸和田市役所	自排局	360	8650	0.022	0.081	0	0	0	0	0	0	12	3.3	0.042	0	



一酸化炭素 (CO)

石油や石炭など炭素を含む物質が燃焼する場合、酸素の供給が十分なときは完全燃焼して二酸化炭素が発生しますが、酸素の供給が不十分なときは不完全燃焼を起して一酸化炭素が発生します。大気中の一酸化炭素の人工的な発生源の主たるものは、自動車です。

ヘモグロビンとの親和力が酸素の 240 倍も強く、肺に吸入されると血中のヘモグロビンと結合 (カルボキシヘモグロビン CO Hb) し、血液の酸素輸送能力を減少させ、体内組織細胞の酸素欠乏を招く。一酸化炭素による中毒事故は、化学物質による中毒事故としては飛び抜けて件数が多い特徴があります。一般家庭では、ストーブなどの暖房器具、ガスコンロや湯沸かし器などの厨房機器、風呂釜などが不完全燃焼をおこして、一酸化炭素中毒の事故が発生することがあります。

環境基準

長期的評価

日平均値の 2% 除外値が 0.04ppm 以下であり、かつ、日平均値が 10ppm を超えた日が 2 日以上連続しないこと。

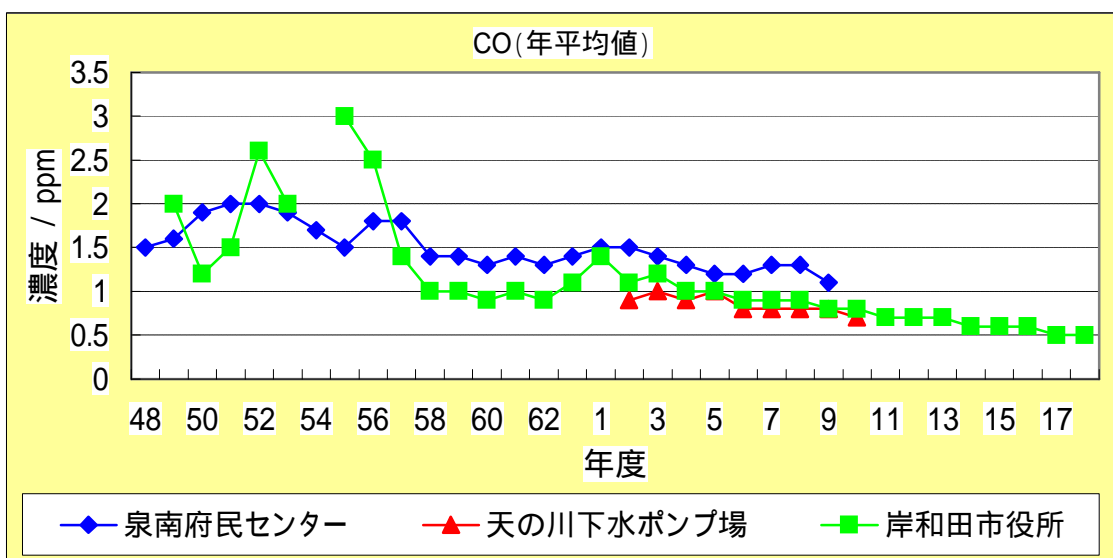
短期的評価

日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、8 時間値が 20ppm 以下であること。

【環境基準達成状況】

一酸化炭素を測定している測定局 (一般局 7 局、自排局 20 局) において、環境基準の長期的評価及び短期的評価いずれも環境基準を 100% 達成しました。

測定局名	種別	有効測定日数	測定時間	年平均値	8 時間値が 20ppm を超えた回数とその割合		日平均値が 10ppm を超えた日数とその割合		1 時間値の最高値	日平均値の 2% 除外値	日平均値が 10ppm を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が 10ppm を超えた日数		環境基準達成状況	
		日	時間	ppm	回	%	日	%	ppm	ppm	有×無	日	長期	短期	
岸和田市役所	自排局	362	8696	0.5	0	0	0	0	3.1	1		0			



非メタン炭化水素 (NMHC)

非メタン炭化水素とは、光化学反応性が無視できるメタンを除いたその他の炭化水素の総称です。

炭化水素は、窒素酸化物とともに、太陽の紫外線により光化学反応を起こして光化学オキシダントに変化し、光化学スモッグを発生させる原因物質とされています。

非メタン炭化水素の主な発生源は、塗装施設、ガソリンスタンド、化学プラント及び自動車です。非メタン炭化水素には環境基準が設定されていませんが、光化学スモッグの発生防止対策としての指針値があります。

指針値

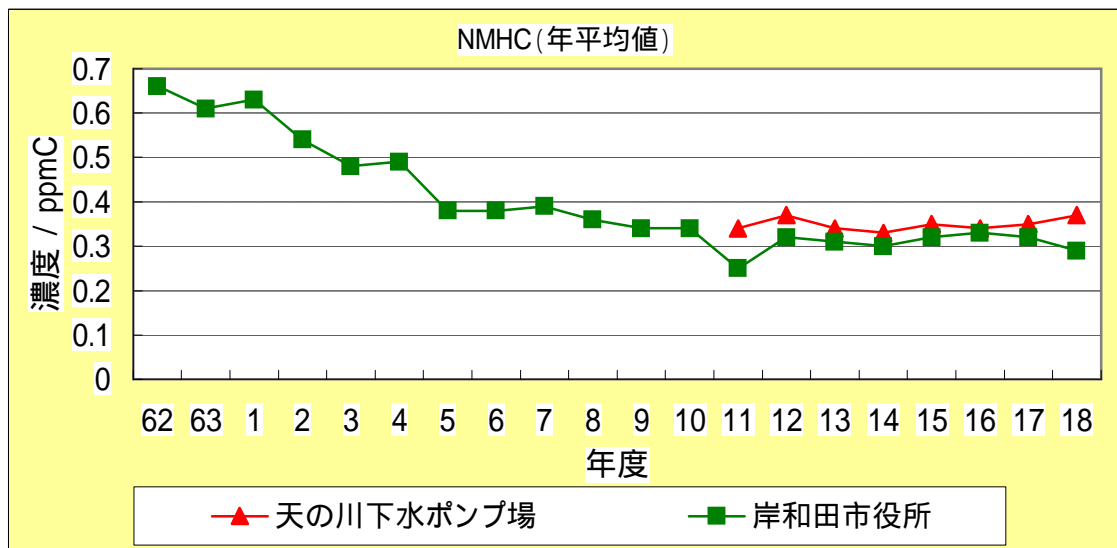
午前6～9時3時間平均値が0.20ppmCから0.31ppmCの範囲内、又はそれ以下であること。

【指針値達成状況】

非メタン炭化水素を測定している測定局（一般局17局、自排局15局）において、指針値を達成できた測定局はありません。

測定局名	種別	測定時間	年平均値	6～9時における年平均値	6～9時測定日数	6～9時3時間平均値		6～9時3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数とその割合		6～9時3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数とその割合		指針値達成状況
						最高値	最低値	日	%	日	%	
						時間	ppmC	ppmC	日	ppmC	ppmC	
天の川下水ポンプ場	自排局	8331	0.37	0.31	364	0.88	0.04	277	76.1	159	43.7	×
岸和田市役所	自排局	8361	0.29	0.32	353	0.82	0.01	284	80.5	157	44.5	×

*ppmC：炭素原子数として表したppm値



光化学オキシダント (Ox)

光化学オキシダントは、工場、事業所や自動車から排出される窒素酸化物 (NOx) や炭化水素類 (HC) を主体とする一次汚染物質が、太陽光線の照射を受けて光化学反応により二次的に生成されるオゾンなどの総称で、いわゆる光化学スモッグの原因となっている物質です。強い酸化力を持ち、高濃度では眼やのどへの刺激や呼吸器に影響を及ぼし、農作物などにも影響を与えます。

環境基準

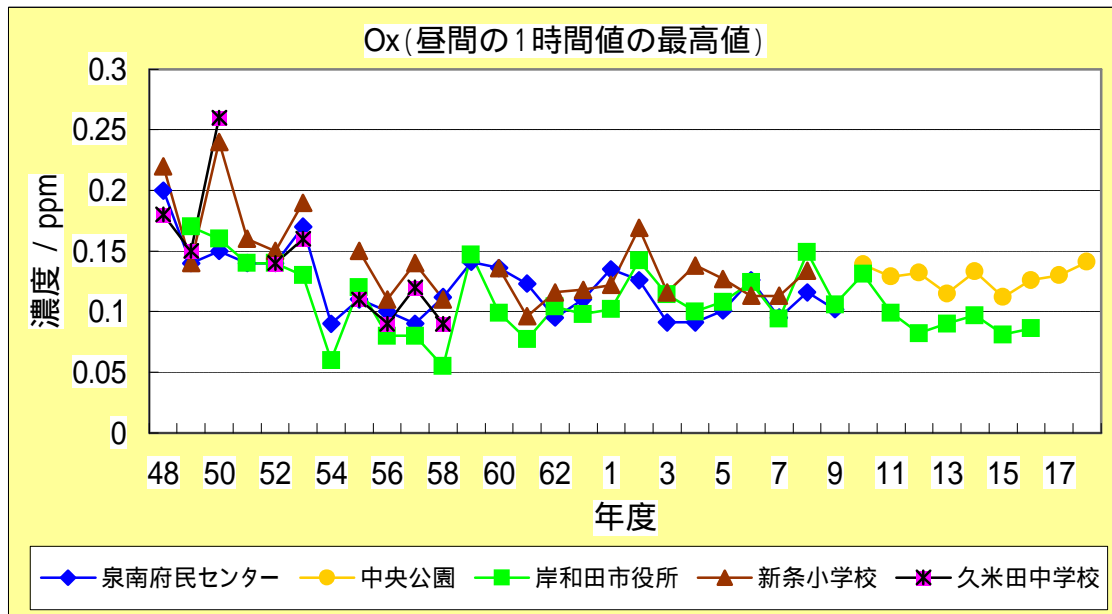
1時間値が0.06ppm以下であること。

【環境基準達成状況】

継続的に環境基準を超過しています。光化学スモッグ予報等の発令状況は、岸和田市を含む地域で予報が6回(発令時間:24時間30分)、注意報が4回(発令時間:12時間30分)発令されました。

本市において光化学スモッグによる被害の訴えはありませんでした。

測定局名	種別	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の年平均値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppmを超えた日数と時間数		昼間の1時間値の最高値	昼間の日最高1時間値の年平均値	環境基準目標達成状況
		日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm	
岸和田中央公園	一般局	365	5382	0.033	107	573	2	5	0.141	0.052	×



浮遊粒子状物質 (SPM)

大気汚染物質は、気体である二酸化硫黄や二酸化窒素などのガス状物質と、固体の小さな粒からなる粒子状物質とに分かれます。浮遊粒子状物質とは、大気中に存在する粒子状物質のうちで、粒子の直径が $10\mu\text{m}$ 以下と定義され、非常に小さく軽いので、すぐには落下せずに大気中に浮かんでいます。

浮遊粒子状物質の発生源は、工場や事業場、自動車、船舶などで使われる燃料などが燃焼する過程で発生（すす等）するほか、自動車の走行により道路面から土砂などが舞い上がったりします。このほか、大気中のガス状物質が化学的に変化して二次的に粒子が生成されることがあります。

粒径が $10\mu\text{m}$ 以下の浮遊粒子状物質は、小さいため気管に入りやすく、特に粒径が $1\mu\text{m}$ 以下の粒子は、気道や肺胞に沈着しやすく、呼吸器疾患の原因になります。

環境基準

長期的評価

日平均値の2%除外値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超える日が2日以上連続しないこと。

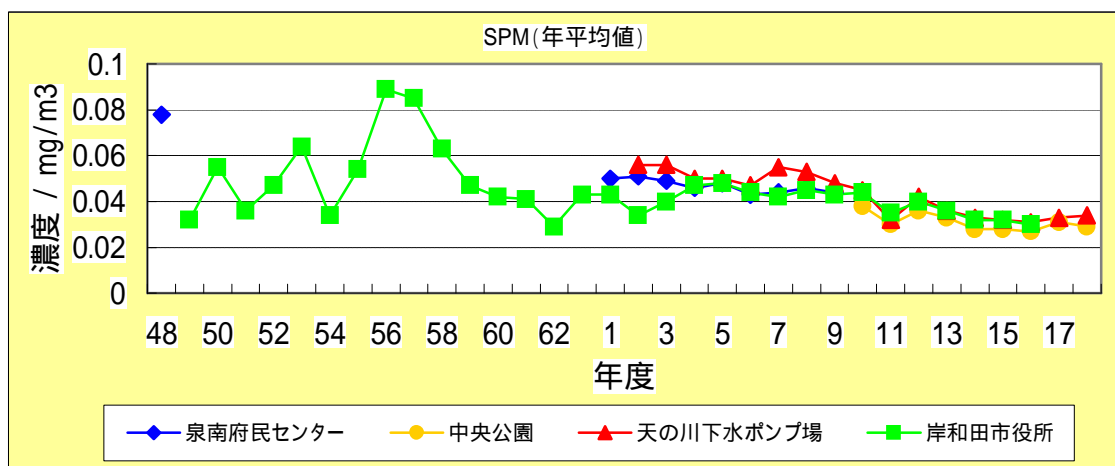
短期的評価

1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であること、かつ、1日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であること。

【環境基準達成状況】

浮遊粒子状物質を測定している測定局（一般局 68 局、自排局 36 局）において、平成 18 年度、長期的評価はそれぞれ 97.1%、94.4% の達成率でしたが、短期的評価の達成率はそれぞれ 1.5%、0% でした。

測定局名	種別	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数とその割合		日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数		
					時間	%	日	%				日	長期	短期
岸和田中央公園	一般局	361	8606	0.029	11	0.1	1	0.3	0.353	0.062		0		×
天の川下水ポンプ場	自排局	358	8584	0.034	11	0.1	2	0.6	0.358	0.077		0		×



有害大気汚染物質

有害大気汚染物質（継続的に摂取される場合には人の健康を損なうおそれがある物質で大気の汚染の原因となるもの）であるベンゼン等の環境大気中における濃度を把握するため、平成13年度から調査しています。

環境基準

ベンゼン：3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

トリクロロエチレン（TCE）：200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

テトラクロロエチレン（PCE）：200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

ジクロロメタン（DCM）：150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

【環境基準達成状況】

4物質とも環境基準を達成しました。

有害物質大気汚染濃度調査結果

	ベンゼン						TCE		PCE		DCM	
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H17	H18	H17	H18	H17	H18
下野町2丁目	3.8	3.3	3	2.7	2.4	2.3	1.2	1	0.9	0.6	3.9	2.8
八阪町	3.9	2.7	3	1.9								
三田町	3.9	3.8				1.6		0.87		0.45		3.3
中央公園		2.9										
磯上町3丁目					2		1.5		0.54		14	

自動車排出ガス調査

本市では、自動車公害対策の一環として、環境月間及び冬季大気汚染対策推進期間に岸和田警察署と合同で自動車排出ガス等の街頭検査を行っています。

平成 18 年度は 11 月にディーゼル車から排出される黒煙(DS)を街頭にて測定しました。2 台の車が基準を超過したため口頭により点検指導が行われました。

年度	実施日	実施場所	検査項目	検査台数	適合車数	適合率
H14	H14.7.4	府道岸和田港塔原線	一酸化炭素(CO) 炭化水素(HC)	50 台	49 台	98%
	H15.1.31	府道岸和田港塔原線	ディーゼル黒鉛 (DS)	15 台	15 台	100%
H15	H15.6.20	府道岸和田港塔原線	一酸化炭素(CO) 炭化水素(HC)	52 台	51 台	98%
	H15.11.21	府道岸和田港塔原線	ディーゼル黒鉛 (DS)	15 台	14 台	93%
H16	H16.6.2	府道岸和田港塔原線	一酸化炭素(CO) 炭化水素(HC)	52 台	51 台	98%
H17	H17.6.9	府道岸和田港塔原線	一酸化炭素(CO) 炭化水素(HC)	50 台	50 台	100%
H18	H18.11.1	府道岸和田港塔原線	ディーゼル黒鉛 (DS)	15 台	13 台	87%

酸性雨調査

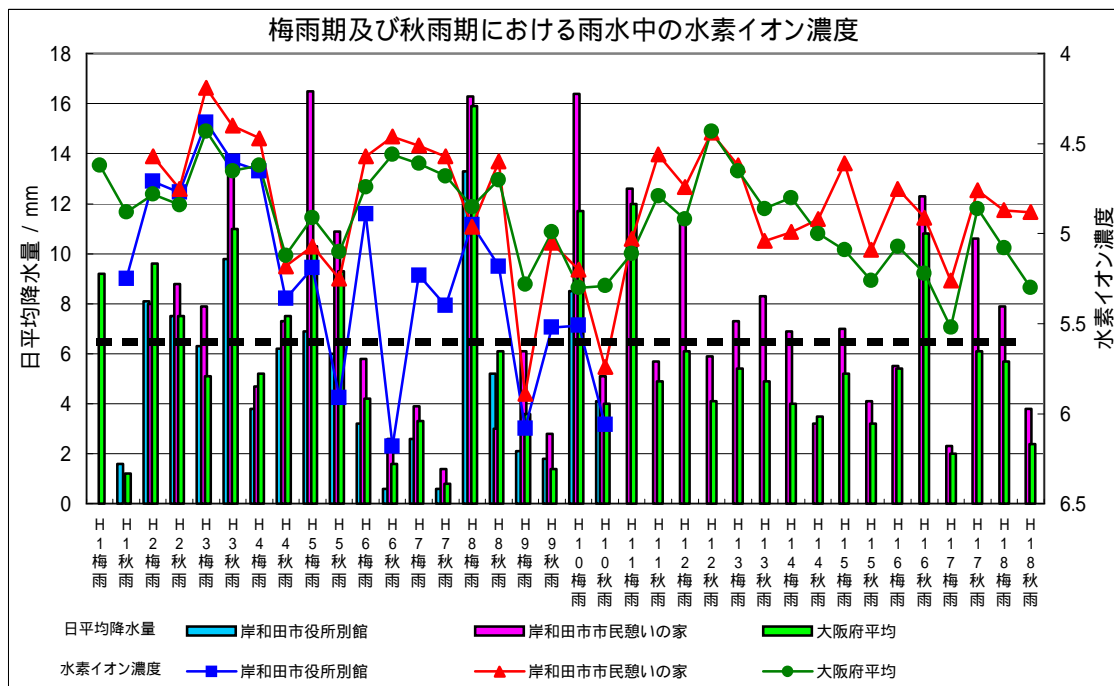
平成元年5月大阪府域自治体間の情報交換及び共同調査を目的として、「大阪府酸性雨調査連絡会」が結成され、本市もこれに参加し酸性雨の調査を実施しています。

通常、雨水は大気中の炭酸ガスを吸収して、弱酸性を示すため、pH5.6以下の降雨を酸性雨としています。

梅雨期（5/29-7/3）と秋雨期（10/2-10/30）の2度、降雨を採取しました。岸和田市市民憩いの家（岸和田市大沢町）での測定結果は大阪府平均よりも酸性側を示しています。

降下量（降下量の単位は $\mu\text{mol}/\text{m}^2$ ）

		降水量	pH	H	S04	NO3	Cl	NH4	Na	K	Ca	Mg
市民憩いの家	梅雨期	274.8mm	4.87	3696	2483	3278	1656	2518	2558	54	847	264
	秋雨期	105.7mm	4.88	1405	979	1850	1207	1427	1311	45	592	260
大阪府平均（32地点）	梅雨期	200.8mm	5.08	1984	2399	4045	1562	3428	2065	122	1587	274
大阪府平均（28地点）	秋雨期	65.9mm	5.30	445	883	1610	1507	1375	1511	67	750	209



* 1 μ は 100 万分の 1

音環境

環境騒音

本市では、市域における騒音に係る環境基準の達成状況を総合的に判断するため、環境騒音モニタリング調査を行っています。

環境基準

環境基本法第16条第1項の規定により、騒音に係る環境上の条件について、人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持することが望ましい基準として「環境基準」が定められています。この基準では、一般地域（道路に面しない地域）及び道路に面する地域のそれぞれについて、地域の類型及び時間の区分ごとに基準値が定められています。

環境基準達成状況

環境基準達成状況の評価は、「個別の住居等が影響を受ける騒音レベルによることを基本」とされ、一般地域（地点）と道路に面する地域（住居等）別に行うこととされています。道路に面する地域については、一定地域内の住居等のうち騒音レベルが環境基準値を超過する戸数及び超過する割合による評価（以下「面的評価」という。）により環境状況を把握しています。

一般地域（道路に面しない地域）

「昼間・夜間ともに達成」が2地点（50％）でした。

一般地域における環境基準達成状況（測定日：平成19年2月13日～15日）

番号	測定地点	地域類型	昼間			夜間		
			LAeq	環境基準	適合状況	LAeq	環境基準	適合状況
	五軒屋町5街区	C	57dB	60dB		52dB	50dB	×
	土生町2丁目32街区	C	56dB	60dB		47dB	50dB	
	並松町24街区	C	57dB	60dB		52dB	50dB	×
	上野町東3街区	C	57dB	60dB		49dB	50dB	

道路に面する地域

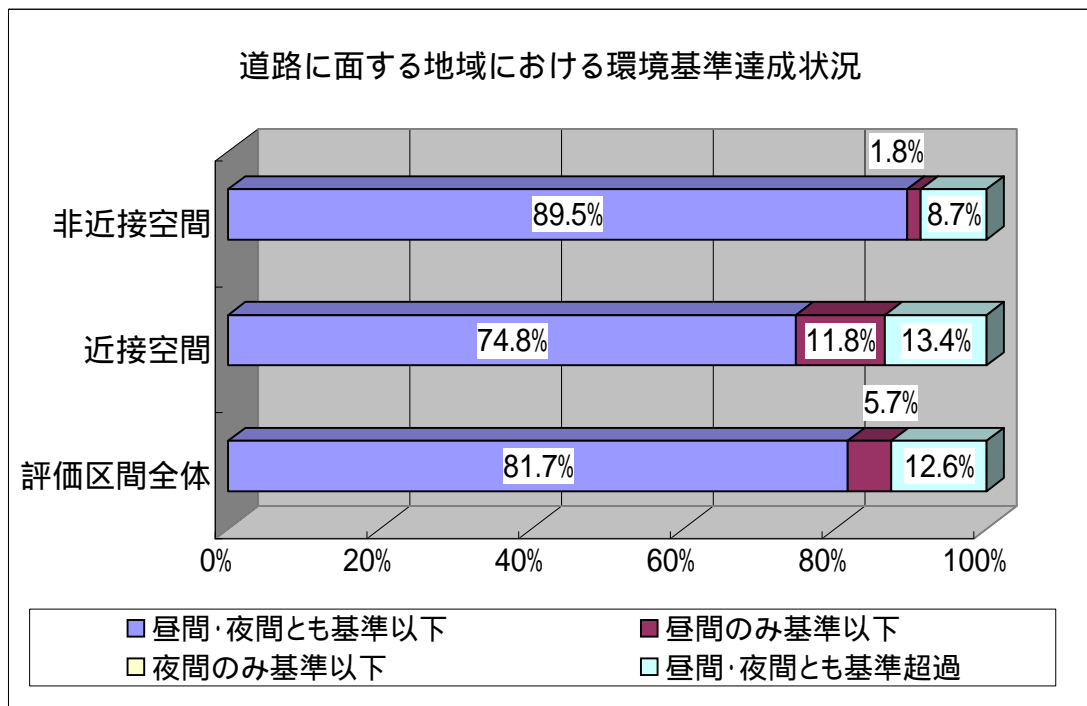
自動車騒音の常時監視結果によると10,230戸の住居等を対象に行った評価では、「昼間・夜間ともに達成」が8,357戸（81.7％）でした。

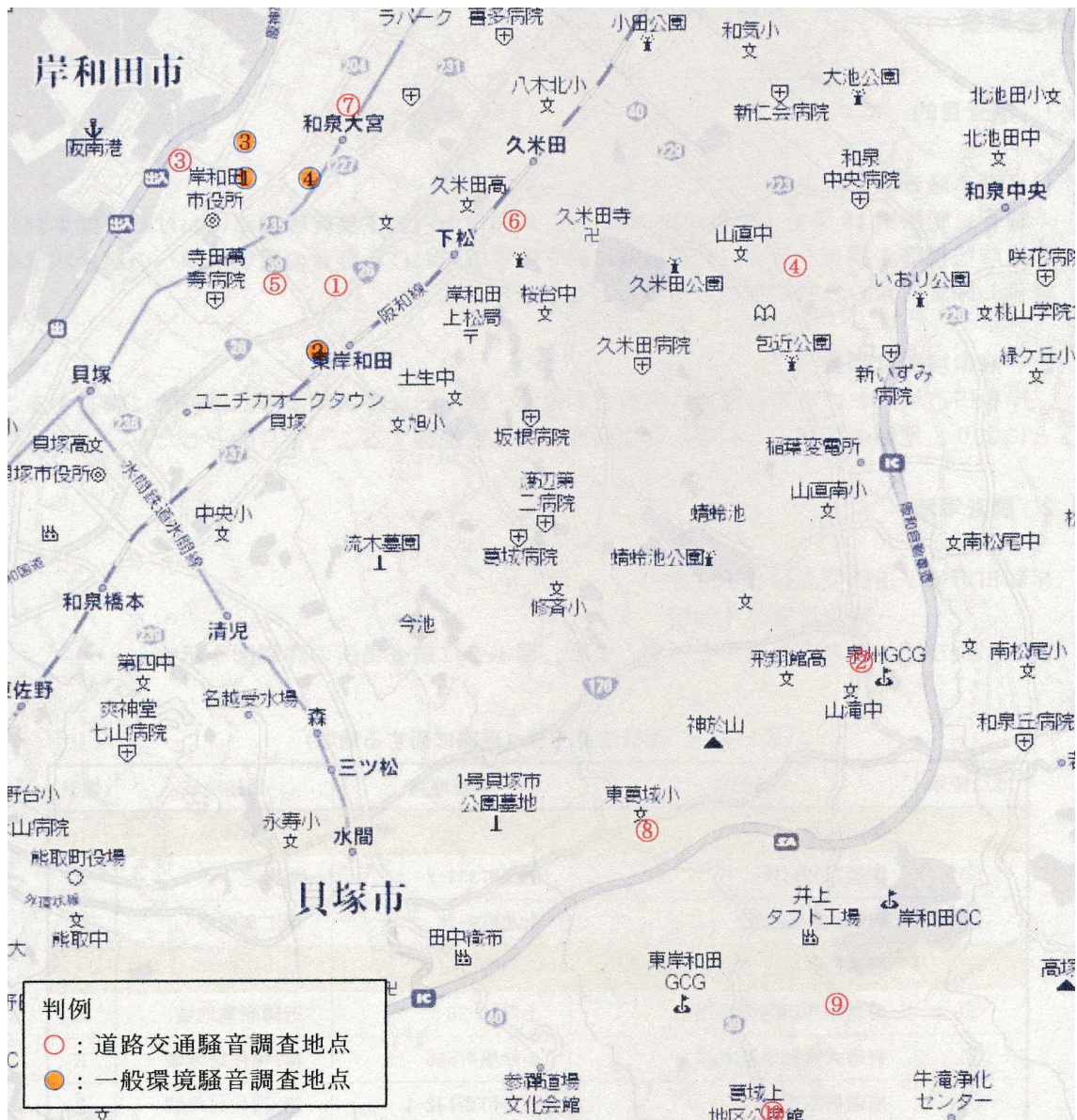
また、騒音規制法第17条第1項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度の値（以下「要請限度値」という。）と比較すると、すべての地点で要請限度値（昼間：75dB、夜間：70dB）以下でした。

自動車騒音常時監視の結果（騒音レベルの測定値）（測定日：平成19年2月13日～17日）

路線名	車線数	路線延長(km)	センサー番号	評価区間番号	番号	測定地点	地域類型	昼間	夜間
								LAeq	LAeq
国道26号		4.5	1018	1018-1	R	八阪町1丁目	C	72dB	68dB
			1019						
国道170号	(新)	4	11048	11048-1	R	内畑町	B	70dB	63dB
				11048-2					

		2	4.6	1048	1048 -1	R	河合町	B	66dB	58dB
府道大阪臨海線		6	3.6	4082	4082 -1	R	大北町	C	68dB	64dB
		2	0.9		4082 -2					
		4	0.5	4083	4083 -1					
府道岸和田 牛滝山貝塚 線	(新)	4	10.8	14118	14118 -1	R	三田町	B	74dB	68dB
				6082	14118 -2					
府道岸和田港塔原 線		2	6.1	44019	44019 -1	R	大沢町	B	60dB	51dB
		4	0.5	4151	4151 -1					
		2	0.8		4151 -2					
		4	1		4151 -3					
		2	6	4152	4152 -1					
2	4.9	44022	44022 -1	R	相川町	B	60dB	52dB		
府道大阪和泉泉南 線		2	4.6	4028	4028 -1	R	小松里 町	B	69dB	66dB
府道堺阪南線		2	4.8	6103	6103 -1	R	加守町 2丁目	B	67dB	62dB
				6104	6104 -1					





航空機騒音

関西国際空港周辺における航空機騒音に係る環境基準の達成状況を把握するため、航空機騒音調査を行っています。

測定結果

測定地点	測定日	WECPNL	ピークレベルの平均値	備考
岸和田市役所第2別館屋上	平成18年9月22日	56	61dB	ピークレベルと暗騒音レベルとの差が10dB以上のもの
		55	55dB	10dB未満のものについて暗騒音補正を行ったものを加えたもの

観測機数

	合計	着陸	離陸	上空通過	リバース
0時～7時に飛来した機数	9(5)	0(0)	8(5)	1(0)	0(0)
7時～19時に飛来した機数	121(3)	0(0)	106(3)	15(0)	0(0)
19時～22時に飛来した機数	23(4)	0(0)	20(4)	3(0)	0(0)
22時～24時に飛来した機数	18(9)	0(0)	14(8)	4(1)	0(0)
合計	171(21)	0(0)	148(20)	23(1)	0(0)

注) 括弧内の数字はピークレベルと暗騒音レベルとの差が10dB以上の機数

WECPNLとは、航空機騒音に係る環境基準の評価単位として用いられるもので、航空機騒音のピークレベルと時間帯ごとの飛来機数を考慮したもの。

計算式 $WECPNL = \overline{dB(A)} + 10 \log_{10} N - 27$

$\overline{dB(A)}$: 一日のすべてのピークレベルをパワー平均したもの

N: 飛来時間帯ごとに補正された機数

$$N = N_2 + 3N_3 + 10(N_1 + N_4)$$

N_1 : 0時～7時に飛来した機数

N_2 : 7時～19時に飛来した機数

N_3 : 19時～22時に飛来した機数

N_4 : 22時～24時に飛来した機数

・水環境

公共用水域

水質汚濁防止法第 15 条の規定により、市内の公共用水域の水質汚濁状況を 6 河川 11 地点で監視しています。

1. 環境基準

環境基本法では、水質の汚濁に係る環境上の条件について、人の健康を保護し生活環境を保全する上で維持することが望ましい「環境基準」が定められています。

人の健康の保護に関する環境基準（健康項目）

全ての公共用水域について一律に適用されるものであり、カドミウム等の 26 項目について環境基準が定められています。

生活環境の保全に関する環境基準（生活環境項目）

河川、湖沼および海域ごとに利用目的に応じて水域類型の指定が行われ、類型ごとに環境基準が定められています。

2. 環境基準の達成状況

健康項目

全 26 項目について、全ての地点で環境基準を達成しました。

生活環境項目

生活環境項目のうち、河川の代表的な汚濁指標とされている BOD（生物化学的酸素要求量）についての環境基準達成状況は下表のとおりです。

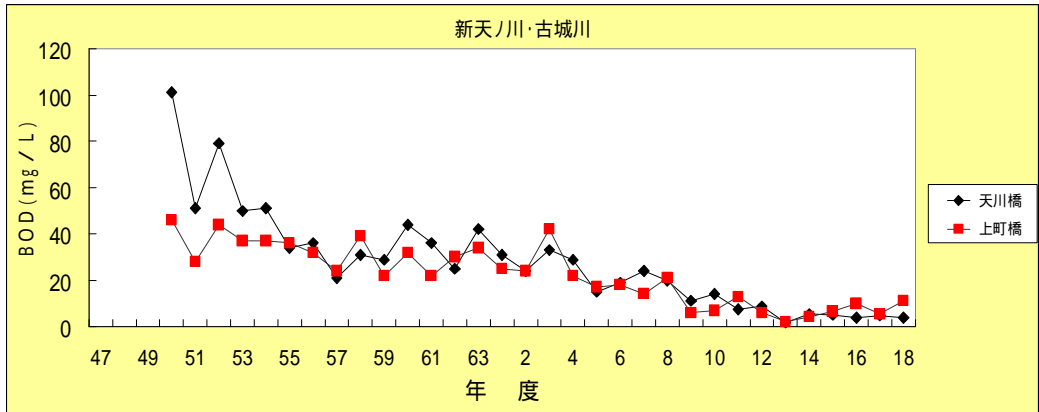
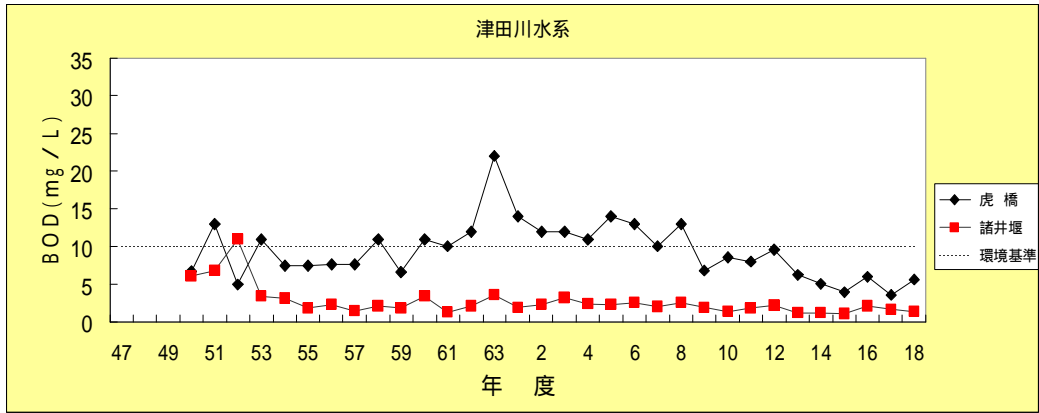
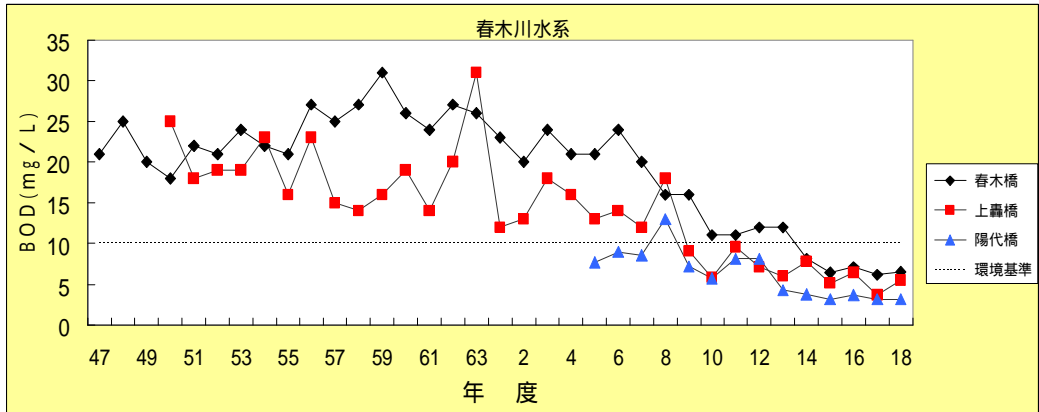
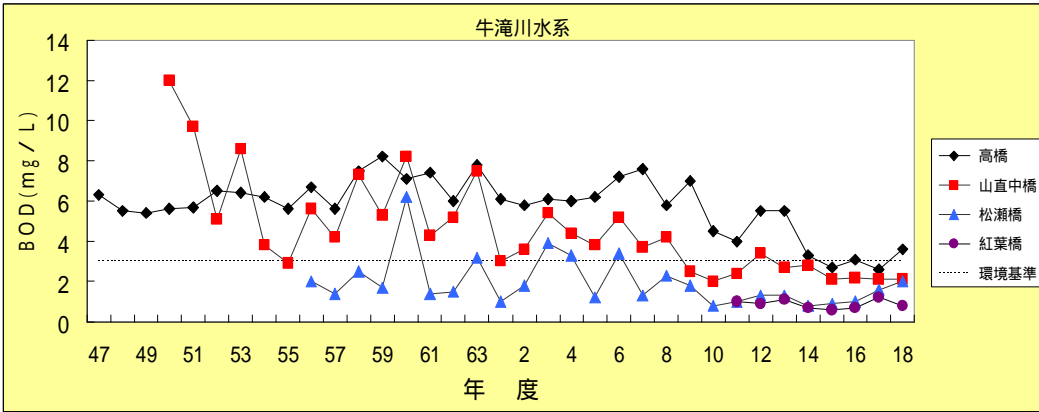
【平成 18 年度環境基準達成状況】

河川	地点番号	測定地点	類型	環境基準 (BOD 基準値)	測定結果 75%値	測定結果 平均値	m/n	適否
牛滝川		紅葉橋	B	3 mg/L 以下	0.8	0.8	0/4	
		松瀬橋			1.5	2.0	1/4	
		山直中橋			2.1	2.1	1/4	○
		高橋			3.2	3.6	4/12	×
轟川		陽代橋	-	-	2.6	3.2	0/4	-
春木川		上轟橋	E	10mg/L 以下	5.4	5.5	0/4	
		春木橋			7.2	6.5	1/12	
津田川		諸井堰	E	10mg/L 以下	1.0	1.4	0/4	
		虎橋			6.1	5.6	0/4	
新天ノ川		天川橋	-	-	3.9	4.0	0/4	-
古城川		上町橋	-	-	15	11	0/4	-

m/n : 基準値超過検体数/総検体数

75%値 : 年間の測定値を低い順に並べたとき 75%の位置にくる値のこと。

適否 : BOD の環境基準評価方法は m/n の値が 25%以下を適合とする。



3. 環境基準の達成状況

牛滝川

牛滝川における測定地点は、紅葉橋（上流）、松瀬橋、山直中橋及び高橋（下流）の4地点で行い、pHが7.6～8.2、BODが0.8～3.6mg/L、CODが2.7～9.5mg/L、SSが3～19mg/L、T-Nが0.92～2.9mg/L、T-Pが0.038～0.17mg/Lであった。

上流から下流に向かって、BOD、COD、SS、T-N及びT-Pについては徐々にではあるが上昇傾向を示していた。生活排水等の影響と考えられる。

紅葉橋（B類型）

平成18年度の平均値と平成17年度の平均値を比較した時、次のようであった。

流量は、平成18年度の平均値が0.07m³/sで、平成17年度の平均値の0.13m³/sより若干減少しているが、経年変化をみると大きな変動はなかった。

生活環境項目は多少の増減があるものの、大きな変動はなかった。

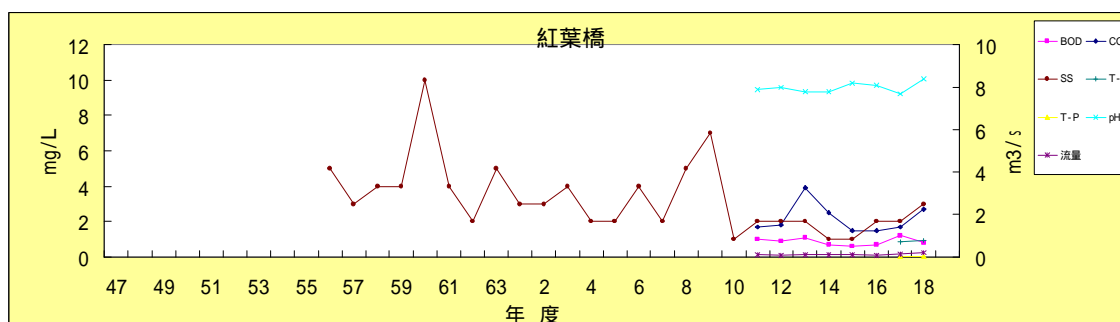
色相は無色であり、臭気は無臭であった。

環境基準に適合しなかった回数（適合しなかった回数／測定回数。以下同じ）は、pHは（0/4）、BODは（0/4）、大腸菌群数は（2/4）であった。

生活環境項目の経年変化をみると、大きくみれば横ばいで推移している。

（ ）内は単位

測定地点名	年度	pH (pH)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
紅葉橋	H17	7.7	1.2	1.7	-	0.84	0.037
	H18	8.4	0.8	2.7	-	0.92	0.038



松瀬橋（B類型）

平成18年度の平均値と平成17年度の平均値を比較した時、次のようであった。

流量は、平成18年度の平均値が0.19m³/sで、平成17年度の平均値の0.23m³/sより若干減少しているが、経年変化をみると大きな変動はなかった。

生活環境項目は大きな変動はなかった。

色相は無色であり、臭気は無臭であった。

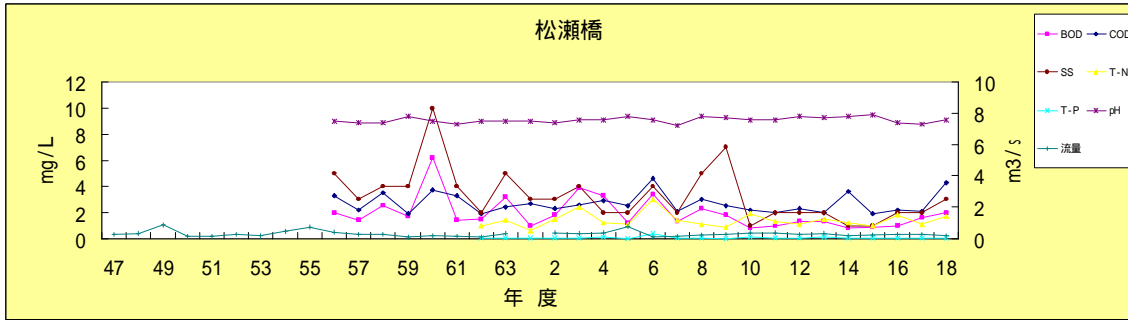
環境基準に適合しなかった回数は、pHは（0/4）、DOは（0/4）、BODは（1/4）、大腸菌群数は（3/4）であった。

健康項目は、すべての環境基準に適合した。

生活環境項目の経年変化をみると、横ばいで推移している。

（ ）内は単位

測定地点名	年度	pH (pH)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
松瀬橋	H17	7.3	1.6	2.1	2	1.1	0.045
	H18	7.6	2	4.3	3	1.7	0.064



山直中橋 (B 類型)

平成 18 年度の平均値と平成 17 年度の平均値を比較した時、次のようであった。
 流量は、平成 18 年度の平均値が 0.25m³/s で、平成 17 年度の平均値の 0.31m³/s より若干減少しているが、経年変化をみると大きな変動はなかった。

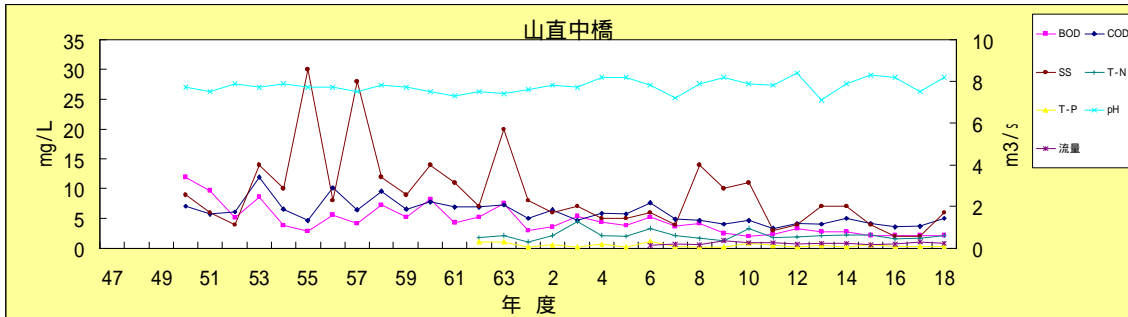
生活環境項目は pH、大腸菌群数で多少の増減があるものの、大きな変動はなかった。
 色相は無色～淡黄色であり、臭気は無臭であった。

環境基準に適合しなかった回数は、pH は (1/4)、DO は (0/4)、BOD は (1/4)、大腸菌群数は (4/4) であった。

生活環境項目の経年変化をみると、横ばいで推移している。

() 内は単位

測定地点名	年度	pH (pH)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
山直中橋	H17	7.5	2.1	3.7	2	1.7	0.087
	H18	8.2	2.1	5.0	6	2.1	0.1



高橋 (環境基準点 B 類型)

平成 18 年度の平均値と平成 17 年度の平均値を比較した時、次のようであった。

流量は、平成 18 年度の平均値が 0.07m³/s で、平成 17 年度の平均値の 0.27m³/s と比較して若干減少しているが、経年変化をみると大きな変動はなかった。

生活環境項目は多少の増減があるものの、大きな変動はなかった。

色相は無色～淡黄色であり、臭気は無臭～微川藻臭であった。

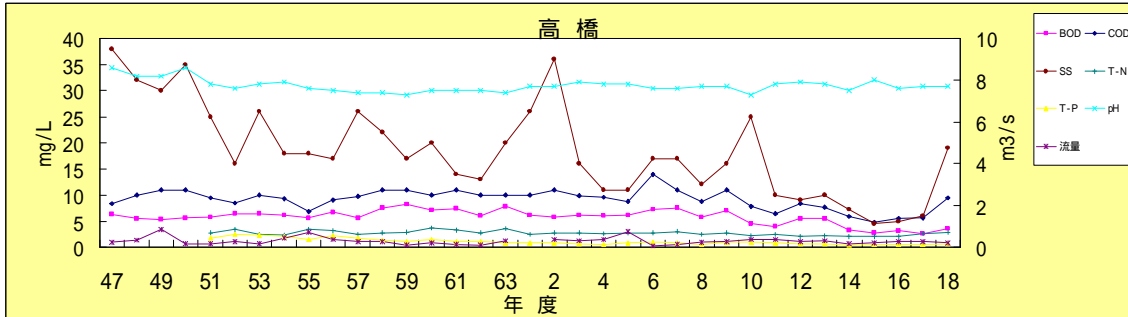
環境基準に適合しなかった回数は、pH は (2/48)、DO は (0/12)、BOD は (4/12)、SS は (3/12)、大腸菌群数は (6/12) であった。pH では 4 月の 2 回目の測定でアルカリ側での不適合であり、周囲の状況から光合成によるものと推測される。

健康項目は、すべての環境基準に適合した。

生活環境項目の経年変化をみると、横ばいで推移している。

()内は単位

測定地点名	年度	pH (pH)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
高橋	H17	7.7	2.6	5.6	6	2.6	0.14
	H18	7.7	3.6	9.5	19	2.9	0.17



轟川

陽代橋 (類型指定なし)

轟川における測定地点は、陽代橋の1地点で行い、川幅が狭く濁りのある川であった。平成18年度の平均値と平成17年度の平均値を比較した時、次のようであった。

流量は、平成18年度の平均が0.02m³/sで、平成17年度の平均値の0.19m³/sより減少しているが、経年変化をみると大きな変動はなかった。

生活環境項目はpHが高い傾向があるが、その他の項目については大きな変動はなかった。

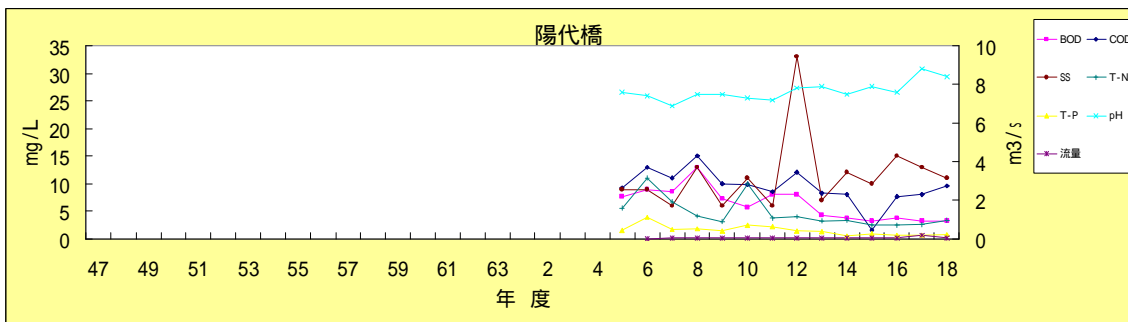
色相は淡黄色であり、臭気は無臭～微川藻臭であった。

健康項目は、全ての環境基準に適合した。

生活環境項目の経年変化をみると、平成18年度はpHは高めではあるが、その他の項目については、ほぼ横ばいで推移している。

()内は単位

測定地点名	年度	pH (pH)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
陽代橋	H17	8.8	3.2	8	13	2.6	0.2
	H18	8.4	3.2	9.6	11	3.4	0.23



春木川

春木川における測定地点は、上轟橋 (上流) 春木橋 (下流) の2地点で行い、pHが7.2~7.8、BODが5.5~6.5mg/L、CODが11~12mg/L、SSが18~25mg/L、T-Nが4~5.5mg/L、T-Pが0.21~0.36mg/Lであり、家庭排水の影響を強く受けている川である。

上轟橋 (E類型)

平成18年度の平均値と平成17年度の平均値を比較した時、次のようであった。

流量は、平成 18 年度の平均値が 0.08m³/s で、平成 17 年度の平均値の 0.09m³/s とほぼ変化はない。

平成 18 年度は、pH、BOD、COD、T-N 及び T-P は大きな変動は無かった。SS については減少した。

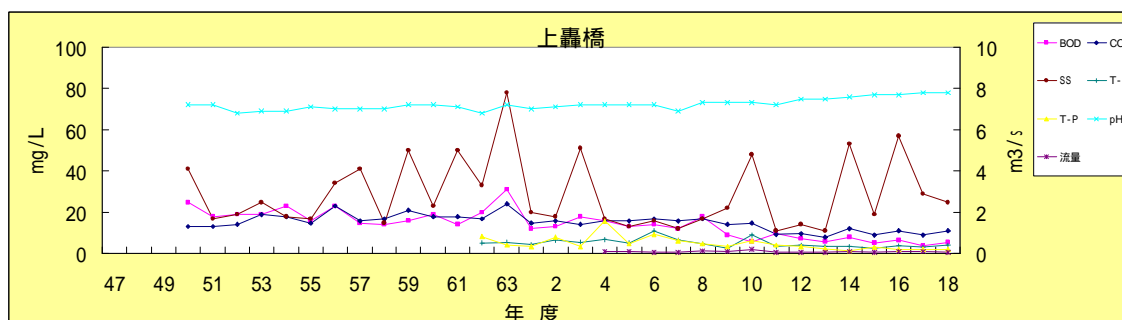
色相は淡黄色であり、臭気は無臭～微川藻臭であった。

健康項目は、全ての環境基準に適合した。

生活環境項目の経年変化をみると、みれば横ばいで推移している。

() 内は単位

測定地点名	年度	pH (pH)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
上轟橋	H17	7.8	3.7	8.9	29	3.1	0.19
	H18	7.8	5.5	11	25	4	0.21



春木橋 (環境基準点 E 類型)

平成 18 年度の平均値と平成 17 年度の平均値を比較した時、次のようであった。

流量は、平成 18 年度の平均値が 0.4m³/s で、平成 17 年度の平均値の 0.21m³/s より増加しているが、経年変化をみると大きな変動はなかった。

生活環境項目は多少の増減があるものの、大きな変動はなかった。

色相は無～淡黄色であり、臭気は無臭～川藻臭であった。

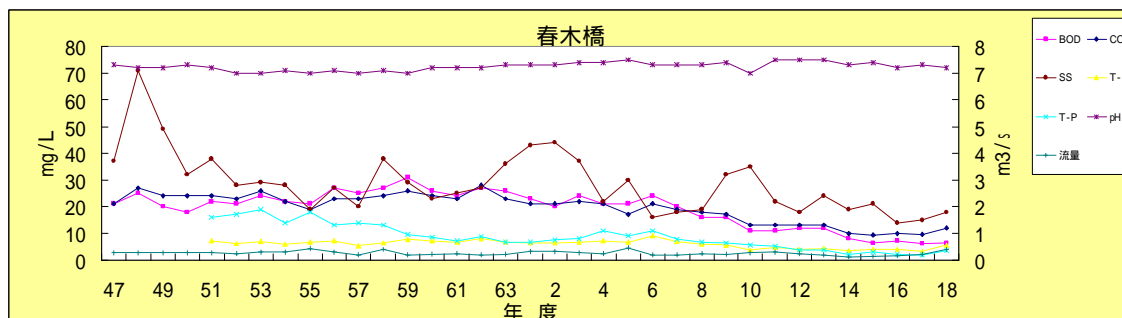
環境基準に適合しなかった回数は、pH は (0/48)、DO は (0/12)、BOD は (1/12)、SS は (0/12) であった。

健康項目は、すべての環境基準に適合した。

生活環境項目の経年変化をみると大きく見れば横ばいで推移している。

() 内は単位

測定地点名	年度	pH (pH)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
春木橋	H17	7.3	6.2	9.5	15	3.3	0.2
	H18	7.2	6.5	12	18	5.5	0.36



津田川

津田川における測定地点は、諸井堰（上流） 虎橋（下流）の2地点で行い、pHが7.5～7.9、BODが1.4～5.6mg/L、CODが4～14mg/L、SSが3～29mg/L、T-Nが1.6～3.9mg/L、T-Pが0.071～0.27mg/Lであり、上流は清流であったが、下流付近は家庭排水が多く流れている川であった。

諸井堰（E類型）

平成18年度の平均値と平成17年度の平均値を比較した時、次のようであった。

流量は、平成18年度の平均値が0.11m³/sで、平成17年度の平均値の0.13m³/sより若干減少しているが、経年変化をみると大きな変動はなかった。

生活環境項目は多少の増減があるものの、大きな変動はなかった。SSについては減少した。

色相は無色であり、臭気は無臭であった。

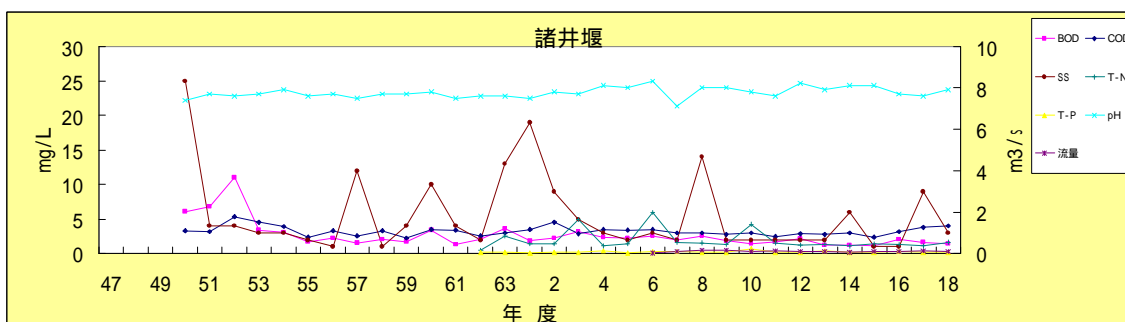
環境基準に適合しなかった回数は、pHは(0/4)、DOは(0/4)、BODは(0/4)であった。

健康項目は、すべて環境基準に適合した。

生活環境項目の経年変化をみると、大きくみれば横ばいで推移している。

()内は単位

測定地点名	年度	pH (pH)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
諸井堰	H17	7.6	1.7	3.8	9	1.1	0.075
	H18	7.9	1.4	4	3	1.6	0.071



虎橋（E類型）

平成18年度の平均値と平成17年度の平均値を比較した時、次のようであった。

流量は、平成18年度の平均値が0.1m³/sで、平成17年度の平均値の0.09m³/sとはば変化はない

生活環境項目は、多少の増減があるものの大きな変動は無かった。

色相は淡黄色～濃黄褐色であり、臭気は無臭～微川藻臭であった。

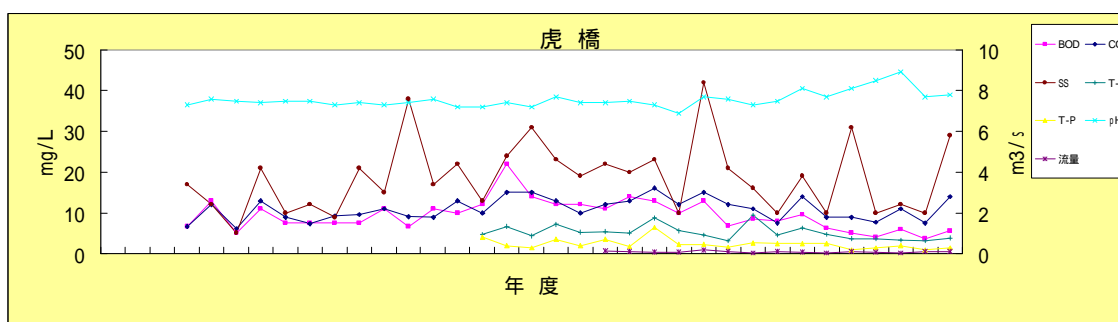
環境基準に適合しなかった回数)は、pHは(1/4)、DOは(0/4)、BODは(0/4)であった。

健康項目は、すべて環境基準に適合した。

生活環境項目の経年変化をみると、みれば横ばいで推移している。

()内は単位

測定地点名	年度	pH (pH)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
虎橋	H17	7.7	3.6	7.6	10	3.1	0.19
	H18	7.8	5.6	14	29	3.9	0.27



新天ノ川

天川橋（類型指定なし）

新天ノ川における測定地点は、天川橋の1地点で行い、家庭排水が多く流れている川であり、満潮（大潮）時に海水の影響を受ける地点であった。

平成18年度の平均値と平成17年度の平均値を比較した時、次のようであった。

流量は、平成18年度の平均値が0.12m³/sで、平成17年度の平均値の0.07m³/sより若干増加しているが、経年変化をみると大きな変動はなかった。

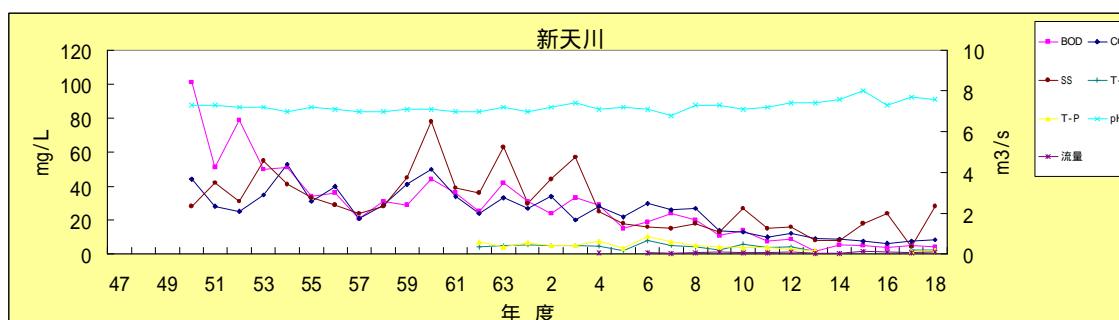
生活環境項目は、多少の増減があるものの大きな変動は無かった。

色相は淡黄色であり、臭気は無臭～微川藻臭であった。

生活環境項目の経年変化をみると、平成18年度はSSが増加しているが、それ以外は横ばいで推移している。

()内は単位

測定地点名	年度	pH (pH)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
天川橋	H17	7.7	4.9	7.6	4	2.5	0.13
	H18	7.6	4	8.3	28	2.6	0.16



古城川

上町橋（類型指定なし）

古城川における測定地点は、上町橋の1地点で行い、家庭排水が多く流れている川である。

平成18年度の平均値と平成17年度の平均値を比較した時、次のようであった。

流量は、平成18年度の平均値が0.12m³/sで、平成17年度の平均値の0.16m³/sより減少している。

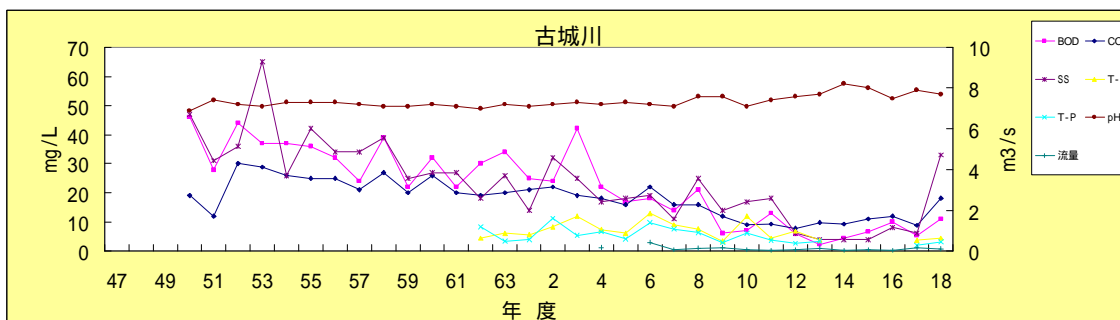
生活環境項目は、多少の増減があるものの大きな変動は無かった。

色相は淡黄色～濃黄褐色であり、臭気は無臭～微川藻臭であった。

生活環境項目の経年変化をみると、平成18年度はSSが増加しているがそれ以外では横ばいで推移している。

()内は単位

測定地点名	年度	pH (pH)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
上町橋	H17	7.9	5.3	8.8	6	3.6	0.28
	H18	7.7	11	18	33	4.5	0.47



4. 水質改善への取り組み

規制の概要

濃度規制

水質汚濁防止法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例に規定される施設を有する事業場等から公共用水域に排出される排出水の濃度を規制しています。

総量規制

瀬戸内海のような閉鎖性海域の水質改善を図るため、海域に流入する産業排水、生活排水等の汚濁負荷量の削減を目的とする水質総量規制が実施されています。本市域では、化学的酸素要求量、窒素含有量及びりん含有量に係る総量規制について、国の総量削減計画に基づき、第5次総量規制基準を適用されています。

指導状況

法及び条例の規制を受ける事業場等が373件あり、平成18年度は延べ47件に立ち入り40件の排出水の水質検査を実施しました。10件の排水基準違反があり、排水処理施設の改善や維持管理の徹底等について指導を行いました。

5. 河川測定地点別データ

地点番号	河川名	地点名			類型	担当機関		基準点	
	牛滝川	紅葉橋			B	岸和田市			
採取月日	5/23	8/1	11/7	2/6	m / n	最小値	最大値	平均値	
採取時刻	12:18	13:01	13:12	12:12					
天候	雨	晴れ	晴れ	晴れ					
気温 ()	20.3	35.8	10.7	16.3		10.7	35.8	20.8	
水温 ()	16.2	24.8	13.5	8.8		8.8	24.8	15.8	
流量 (m ³ /S)	0.19	0.04	0.01	0.02		0.01	0.19	0.07	
透視度 (cm)	>30	>30	>30	>30		>30	>30	>30	
臭気相	無	無	無	無					
pH (-)	7.3	7.8	8.4	8.2	0 / 4	7.3	8.4		
生活環境項目	DO (mg/L)	0.7	0.6	1.1	0.8	0 / 4	0.6	1.1	0.8
	DO (mg/L)	2.6	2.3	4.0	1.9	- / 4	1.9	4.0	2.7
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	7.0×10 ²	1.7×10 ⁴	4.6×10 ⁴	2.4×10 ³	2 / 4	7.0×10 ²	4.6×10 ⁴	1.7×10 ⁴
	全窒素 (mg/L)		0.97		0.87	- / 2	0.87	0.97	0.92
全窒素 (mg/L)		0.044		0.032	- / 2	0.032	0.044	0.038	
健康項目	カドミウム (mg/L)								
	全シアン (mg/L)								
	六価クロム (mg/L)								
	ヒ素 (mg/L)								
	総水銀 (mg/L)								
	アルキル水銀 (mg/L)								
	ジクロロメタン (mg/L)								
	四塩化炭素 (mg/L)								
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)								
	1,1-ジクロロエタン (mg/L)								
	シス-1,2-ジクロロエタン (mg/L)								
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)								
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)								
	トリクロロエチレン (mg/L)								
テトラクロロエチレン (mg/L)									
1,3-ジクロロベンゼン (mg/L)									
チウラム (mg/L)									
シマジン (mg/L)									
チオベンカルブ (mg/L)									
ベンゼン (mg/L)									
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)									
ふっ素 (mg/L)									
ほう素 (mg/L)									
特殊項目	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)								
	フェノール類 (mg/L)								
	亜鉛 (mg/L)								
	鉄(溶解性) (mg/L)								
	マンガン(溶解性) (mg/L)								
	全クロム (mg/L)								
	陰イオン界面活性剤 (mg/L)								
アンモニア性窒素 (mg/L)									
硝酸性窒素 (mg/L)									
亜硝酸性窒素 (mg/L)									
リン酸性リン (mg/L)									
特定項目	トリハロメタン生成能 (mg/L)								
	クロホルム生成能 (mg/L)								
	ジクロロメタン生成能 (mg/L)								
	トリクロロメタン生成能 (mg/L)								
	クロホルム (mg/L)								
	トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)								
	1,2-ジクロロベンゼン (mg/L)								
	p-ジクロロベンゼン (mg/L)								
	イソキサチオン (mg/L)								
	ダイアジリン (mg/L)								
	フェニトロチオン (mg/L)								
	イソプロチオラン (mg/L)								
	オキシシン銅 (mg/L)								
	クロロタロン (mg/L)								
プロピザミド (mg/L)									
EPN (mg/L)									
要監視項目	ジクロロホルム (mg/L)								
	フェニプロカルブ (mg/L)								
	イプロベンホス (mg/L)								
	クロロニトロフェン (mg/L)								
	トルエン (mg/L)								
	キシレン (mg/L)								
	フェニルエチルハキシル (mg/L)								
	ニッケル (mg/L)								
	モリブデン (mg/L)								
	アンチモン (mg/L)								
	塩化ビニルモノマー (mg/L)								
	エピクロヒドリン (mg/L)								
	1,4-ジオキサン (mg/L)								
	全マンガン (mg/L)								
ウラン (mg/L)									
その他項目	塩素イオン (mg/L)	<10	15	35	34	- / 4	<10	35	24
	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)								
	ATU添加BOD (mg/L)								
非イオン界面活性剤									
電気伝導率 (mS/m)									

<備考> BOD(75%値) : 0.8 (mg/L)

* 上水道水源地域

地点番号	河川名	地点名			類型	担当機関			基準点	
	牛滝川	松瀬橋			B	岸和田市				
採取月日	5/23	8/1	11/7	2/6	m / n	最小値	最大値	平均値		
採取時刻	12:46	13:33	13:28	12:48						
天候	雨	晴れ	晴れ	晴れ						
気温 ()	20.5	27.8	11.3	11.7			11.3 ~ 27.8	17.8		
水温 ()	16.3	23.9	13.3	8.3			8.3 ~ 23.9	15.5		
流量 (m3/S)	0.37	0.18	0.16	0.06			0.06 ~ 0.37	0.19		
透視度 (cm)	>30	>30	>30	無			>30 ~ >30	>30		
臭気相色	無	無	無	無						
pH (-)	7.4	7.9	7.6	7.6	0 / 4		7.4 ~ 7.9			
生活環境項目	D O (mg/L)	11	10	9.2	9.1	0 / 4	9.1 ~ 11	9.8		
	B O D (mg/L)	1.5	0.8	0.8	4.7	1 / 4	0.8 ~ 4.7	2.0		
	C O D (mg/L)	3.5	2.7	3.7	7.1	- / 4	2.7 ~ 7.1	4.3		
	S (mg/L)	4	1	6	2	0 / 4	1 ~ 6	3		
大腸菌群数 (MPN/100mL)	2.2×10 ⁴	9.2×10 ³	1.7×10 ⁴	3.3×10 ³	3 / 4	3.3×10 ³ ~ 7.0×10 ⁴	2.6×10 ⁴			
全窒素 (mg/L)		1.1	1.1	2.2	- / 2	1.1 ~ 2.2	1.7			
全有機物 (mg/L)		0.037	0.037	0.091	- / 2	0.037 ~ 0.091	0.064			
健康項目	カドミウム (mg/L)		<0.001	<0.001	0 / 2	<0.001 ~ <0.001	<0.001			
	全シアン (mg/L)		<0.1	<0.1	0 / 2	<0.1 ~ <0.1	<0.1			
	鉛 (mg/L)		<0.005	<0.005	0 / 2	<0.005 ~ <0.005	<0.005			
	六価クロム (mg/L)		<0.02	<0.02	0 / 2	<0.02 ~ <0.02	<0.02			
	ヒ素 (mg/L)		<0.005	<0.005	0 / 2	<0.005 ~ <0.005	<0.005			
	総水銀 (mg/L)		<0.0005	<0.0005	0 / 2	<0.0005 ~ <0.0005	<0.0005			
	アルキル水銀 (mg/L)		<0.0005	<0.0005	0 / 2	<0.0005 ~ <0.0005	<0.0005			
	p C B (mg/L)		<0.0005	<0.0005	0 / 1	<0.0005 ~ <0.0005	<0.0005			
	ジクロロメタン (mg/L)		<0.002	<0.002	0 / 2	<0.002 ~ <0.002	<0.002			
	四塩化炭素 (mg/L)		<0.0002	<0.0002	0 / 2	<0.0002 ~ <0.0002	<0.0002			
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)		<0.0004	<0.0004	0 / 2	<0.0004 ~ <0.0004	<0.0004			
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.002	<0.002	0 / 2	<0.002 ~ <0.002	<0.002			
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.004	<0.004	0 / 2	<0.004 ~ <0.004	<0.004			
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0005	<0.0005	0 / 2	<0.0005 ~ <0.0005	<0.0005			
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0006	<0.0006	0 / 2	<0.0006 ~ <0.0006	<0.0006			
	トリクロロエチレン (mg/L)		<0.002	<0.002	0 / 2	<0.002 ~ <0.002	<0.002			
	テトラクロロエチレン (mg/L)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	0 / 2	<0.0005 ~ <0.0005	<0.0005		
	1,3-ジクロロプロパン (mg/L)		<0.0002	<0.0002	0 / 1	<0.0002 ~ <0.0002	<0.0002			
	チオソリン (mg/L)		<0.0006	<0.0006	0 / 1	<0.0006 ~ <0.0006	<0.0006			
	シマジン (mg/L)		<0.0003	<0.0003	0 / 1	<0.0003 ~ <0.0003	<0.0003			
チオベンカルブ (mg/L)		<0.002	<0.002	0 / 1	<0.002 ~ <0.002	<0.002				
ベンゼン (mg/L)		<0.001	<0.001	0 / 2	<0.001 ~ <0.001	<0.001				
セレン (mg/L)		<0.002	<0.002	<0.002	0 / 2	<0.002 ~ <0.002	<0.002			
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)		0.91	0.81	0.81	0 / 2	0.81 ~ 0.91	0.86			
ふっ素 (mg/L)		0.11	0.09	0.09	0 / 2	0.09 ~ 0.11	0.10			
ほう素 (mg/L)		0.08	0.12	0.12	0 / 2	0.08 ~ 0.12	0.10			
特殊項目	n-ハキサン抽出物質 (mg/L)		<0.5	<0.5	<0.5	0 / 2	<0.5 ~ <0.5	<0.5		
	フェノール類 (mg/L)									
	銅 (mg/L)									
	鉄 (溶解性) (mg/L)									
	マンガン (溶解性) (mg/L)									
	全クロム (mg/L)									
	陰イオン界面活性剤 (mg/L)									
アモニア性窒素 (mg/L)										
硝酸性窒素 (mg/L)		0.89	0.79	0.79	- / 2	0.79 ~ 0.89	0.84			
亜硝酸性窒素 (mg/L)		<0.04	<0.04	<0.04	- / 2	<0.04 ~ <0.04	<0.04			
リン酸性リン (mg/L)										
特定項目	トリハロメタン生成能 (mg/L)									
	クロホルム生成能 (mg/L)									
	ブロメジクロロメタン生成能 (mg/L)									
	ジブロメジクロロメタン生成能 (mg/L)									
	クロホルム生成能 (mg/L)									
	トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)									
	1,2-ジクロロプロパン (mg/L)									
	p-ジクロロベンゼン (mg/L)									
	イソキサチオン (mg/L)									
	ダイアジノン (mg/L)									
	フェネトロチオン (mg/L)									
	イソプロチオラン (mg/L)									
	オキサジン銅 (mg/L)									
	クロロタロニル (mg/L)									
	プロピザミド (mg/L)									
E P N (mg/L)										
要監視項目	ジクロロホルム (mg/L)									
	フェノカルブ (mg/L)									
	イプロベンホス (mg/L)									
	クロルニトロフェン (mg/L)									
	トルエン (mg/L)									
	キシレン (mg/L)									
	フタル酸ジエチルハキソール (mg/L)									
	ニッケル (mg/L)									
	モリブデン (mg/L)									
	アンチモン (mg/L)									
	塩化ビニルモノマー (mg/L)									
	エビクロロヒドリン (mg/L)									
	1,4-ジオキサソ (mg/L)									
	全マンガン (mg/L)									
	ウラン (mg/L)									
その他項目	塩素イオン (mg/L)	<10	11	26	26	- / 4	<10 ~ 26	18		
	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)									
	ATU添加BOD (mg/L)									
非イオン界面活性剤										
電気伝導率 (mS/m)										

<備考> BOD (75%値) : 1.5 (mg/L)

* 上水道水源地域

地点番号	河川名	地点名			類型	担当機関			基準点	
	牛滝川	山直中橋			B	岸和田市				
採取月日	5/23	8/1	11/7	2/6	m / n	最小値	最大値	平均値		
採取時刻	11:40	12:26	12:25	11:45						
天候	雨	晴れ	晴れ	晴れ						
気温 ()	20.3	36.0	13.5	13.0			13.0 ~ 36.0	20.7		
水温 ()	18.1	27.3	14.7	9.6			9.6 ~ 27.3	17.4		
流量 (m ³ /S)	0.46	0.34	0.10	0.10			0.10 ~ 0.46	0.25		
透視度 (cm)	>30	>30	>30	>30			>30 ~ >30	>30		
臭気相	無	無淡黄	無淡黄	無						
pH (-)	7.5	8.3	8.6	8.2	1 / 4		7.5 ~ 8.6			
生活環境項目	D O (mg/L)	10	9.8	13	15	0 / 4	9.8 ~ 15	12		
	B O D (mg/L)	1.0	1.5	2.1	3.7	1 / 4	1.0 ~ 3.7	2.1		
	C O D (mg/L)	3.4	4.6	6.4	5.5	- / 4	3.4 ~ 6.4	5.0		
	S (mg/L)	2	5	14	3	0 / 4	2 ~ 14	6		
大腸菌群数 (MPN/100mL)	5.4 × 10 ⁴	1.4 × 10 ⁵	1.7 × 10 ⁴	7.9 × 10 ³	4 / 4	7.9 × 10 ³ ~ 1.4 × 10 ⁵	5.5 × 10 ⁴			
全窒素 (mg/L)		0.082		0.12	- / 2	0.082 ~ 0.12	0.10			
健康項目	全カドミウム (mg/L)									
	全シアン (mg/L)									
	六価クロム (mg/L)									
	ヒ素 (mg/L)									
	総水銀 (mg/L)									
	アルキル水銀 (mg/L)									
	ジクロロメタン (mg/L)									
	四塩化炭素 (mg/L)									
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)									
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)									
	トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)									
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)									
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)									
	トリクロロエチレン (mg/L)									
	特異項目	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)								
フェノール類 (mg/L)										
銅 (mg/L)										
亜鉛 (mg/L)										
鉄(溶解性) (mg/L)										
マンガン(溶解性) (mg/L)										
全クロム (mg/L)										
陰イオン界面活性剤 (mg/L)										
アンモニア性窒素 (mg/L)										
硝酸性窒素 (mg/L)										
亜硝酸性窒素 (mg/L)										
リン酸性リン (mg/L)										
特定項目	トリハロメタン生成能 (mg/L)									
クロホルム生成能 (mg/L)										
ブロメシクロメタン生成能 (mg/L)										
ジブロメシクロメタン生成能 (mg/L)										
クロホルム生成能 (mg/L)										
要監視項目	トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)									
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)									
	p-ジクロロベンゼン (mg/L)									
	イソキサチオン (mg/L)									
	ダイアジノン (mg/L)									
	フェントロチオン (mg/L)									
	イソプロチオラン (mg/L)									
	オキシシン銅 (mg/L)									
	クロタロニル (mg/L)									
	プロピザミド (mg/L)									
	E P N (mg/L)									
	ジクロルボス (mg/L)									
	フェノカルブ (mg/L)									
	イプロベンホス (mg/L)									
	クロルニトロフェン (mg/L)									
その他項目	トルエン (mg/L)									
	キシレン (mg/L)									
	フタル酸ジエチルハキシルニフタレート (mg/L)									
	モリブデン (mg/L)									
	アンチモン (mg/L)									
	塩化ビニルモノマー (mg/L)									
	エヒクロロヒドリン (mg/L)									
	1,4-ジオキサソ (mg/L)									
	全マンガン (mg/L)									
	ウラン (mg/L)									
硫酸イオン (mg/L)										
糞便性大腸菌群数 (個/100mL)										
A T U 添加 B O D (mg/L)										
非イオン界面活性剤										
電気伝導率 (mS/m)										

<備考> BOD(75%値) : 2.1 (mg/L)

* 上水道水源地域

地点番号	河川名	地点名			類型	担当機関			基準点	
	轟川	陽代橋			-	岸和田市				
採取月日	5/23	8/1	11/7	2/6	m / n	最小値	最大値	平均値		
採取時刻	11:08	11:41	12:09	10:49						
天候	雨	晴れ	晴れ	晴れ						
気温 ()	20.3	35.6	13.0	15.3			13.0 ~ 35.6	21.1		
水温 ()	18.3	28.6	15.7	12.3			12.3 ~ 28.6	18.7		
流量 (m3/S)	0.05	0.01	0.01	0.01			0.01 ~ 0.05	0.02		
透視度 (cm)	>30	>30	>30	25			25 ~ >30	29		
臭気相色	無淡黄	微川藻淡黄	無淡黄	微川藻淡黄						
pH (-)	8.9	9.0	7.7	8.0	2 / 4	7.7 ~ 9.0				
生活環境項目	D O (mg/L)	9.9	12	12	13	0 / 4	9.9 ~ 13	12		
	B O D (mg/L)	1.3	1.9	2.6	6.9	0 / 4	1.3 ~ 6.9	3.2		
	C O D (mg/L)	7.0	10	9.3	12	- / 4	7.0 ~ 12	9.6		
	S (mg/L)	5	11	10	16	0 / 4	5 ~ 16	11		
健康項目	大腸菌群数 (MPN/100mL)		1.3×10 ⁴		1.7×10 ⁴	- / 2	1.3×10 ⁴ ~ 1.7×10 ⁴	1.5×10 ⁴		
	全窒素 (mg/L)		1.6		5.1	- / 2	1.6 ~ 5.1	3.4		
	全シアン (mg/L)		<0.001		<0.001	0 / 2	<0.001 ~ <0.001	<0.001		
	全鉛 (mg/L)		<0.1		<0.1	0 / 2	<0.1 ~ <0.1	<0.1		
	六価クロム (mg/L)		<0.005		<0.005	0 / 2	<0.005 ~ <0.005	<0.005		
	ヒ素 (mg/L)		<0.02		<0.02	0 / 2	<0.02 ~ <0.02	<0.02		
	総水銀 (mg/L)		<0.005		<0.005	0 / 2	<0.005 ~ <0.005	<0.005		
	アルキル水銀 (mg/L)		<0.0005		<0.0005	0 / 2	<0.0005 ~ <0.0005	<0.0005		
	ジクロロメタン (mg/L)		<0.0005		<0.0005	0 / 1	<0.0005 ~ <0.0005	<0.0005		
	四塩化炭素 (mg/L)		<0.002		<0.002	0 / 2	<0.002 ~ <0.002	<0.002		
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)		<0.0002		<0.0002	0 / 2	<0.0002 ~ <0.0002	<0.0002		
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.004		<0.004	0 / 2	<0.004 ~ <0.004	<0.004		
	トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.004		<0.004	0 / 2	<0.004 ~ <0.004	<0.004		
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0005		<0.0005	0 / 2	<0.0005 ~ <0.0005	<0.0005		
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0006		<0.0006	0 / 2	<0.0006 ~ <0.0006	<0.0006		
トリクロロエチレン (mg/L)		<0.002		<0.002	0 / 2	<0.002 ~ <0.002	<0.002			
テトラクロロエチレン (mg/L)		<0.0005		<0.0005	0 / 2	<0.0005 ~ <0.0005	<0.0005			
1,3-ジクロロプロパン (mg/L)		<0.0002		<0.0002	0 / 1	<0.0002 ~ <0.0002	<0.0002			
チウラム (mg/L)		<0.0006		<0.0006	0 / 1	<0.0006 ~ <0.0006	<0.0006			
シマジン (mg/L)		<0.0003		<0.0003	0 / 1	<0.0003 ~ <0.0003	<0.0003			
チオベンカルブ (mg/L)		<0.002		<0.002	0 / 1	<0.002 ~ <0.002	<0.002			
ベンゼン (mg/L)		<0.001		<0.001	0 / 2	<0.001 ~ <0.001	<0.001			
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)		0.91		1.3	0 / 2	0.91 ~ 1.3	1.1			
ふっ素 (mg/L)		0.22		0.05	0 / 2	0.22 ~ 0.05	0.15			
ほう素 (mg/L)		0.06		0.05	0 / 2	0.06 ~ 0.05	0.06			
特殊項目	n-ハキサン抽出物質 (mg/L)		<0.5		<0.5	0 / 2	<0.5 ~ <0.5	<0.5		
	フェノール類 (mg/L)									
	銅 (mg/L)									
	亜鉛 (mg/L)									
	鉄(溶解性) (mg/L)									
	マンガン(溶解性) (mg/L)									
	全クロム (mg/L)									
陰イオン界面活性剤 (mg/L)										
アンモニア性窒素 (mg/L)										
硝酸性窒素 (mg/L)		0.64		1.2	- / 2	0.64 ~ 1.2	0.92			
亜硝酸性窒素 (mg/L)		0.27		0.15	- / 2	0.15 ~ 0.27	0.21			
リン酸性リン (mg/L)										
特定項目	トリハロメタン生成能 (mg/L)									
	クロロホルム生成能 (mg/L)									
	ブromoクロロメタン生成能 (mg/L)									
	ジブロモクロロメタン生成能 (mg/L)									
	クロロホルム生成能 (mg/L)									
	トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)									
	1,2-ジクロロプロパン (mg/L)									
	p-ジクロロベンゼン (mg/L)									
	イソキサチオン (mg/L)									
	ダイアジノン (mg/L)									
	フェントロチオン (mg/L)									
	イソプロチオラン (mg/L)									
	オキシシン銅 (mg/L)									
	クロタロニル (mg/L)									
	プロピザミド (mg/L)									
要監視項目	E P N (mg/L)									
	シクロルボス (mg/L)									
	フェノカルブ (mg/L)									
	イプロベンホス (mg/L)									
	クロロニトロフェン (mg/L)									
	トルエン (mg/L)									
	キシレン (mg/L)									
	フタル酸ジエチルハキシルニフタレート (mg/L)									
	モリブデン (mg/L)									
	アンチモン (mg/L)									
	塩化ビニルモノマー (mg/L)									
	エヒクロロヒドリン (mg/L)									
	1,4-ジオキサソ (mg/L)									
	全マンガン (mg/L)									
	ウラン (mg/L)									
その他項目	塩素イオン (mg/L)									
	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)									
	ATU添加BOD (mg/L)									
非イオン界面活性剤										
電気伝導率 (mS/m)										

<備考> BOD(75%値) : 2.6 (mg/L)

* 上水道水源地域

地点番号	河川名	地点名	類型	担当機関	基準点
	春木川	上轟橋	E	岸和田市	
採取月日	5/23	8/1	11/7	2/6	m / n 最小値 - 最大値 平均値
採取時刻	10:34	11:09	10:34	10:17	
天候	雨	晴れ	晴れ	晴れ	
気温 ()	22.3	35.0	15.5	13.0	13.0 - 35.0 21.5
水温 ()	20.1	27.8	14.7	8.0	8.0 - 27.8 17.7
流量 (m3/S)	0.11	0.15	0.01	0.04	0.01 - 0.15 0.08
透視度 (cm)	>30	22	25	24	22 - >30 25
臭気相色	無淡黄	微川藻淡黄	微土淡黄	微川藻淡黄	
pH (-)	7.7	7.7	7.9	7.7	0 / 4 7.7 - 7.9
生活環境項目	D O (mg/L)	9.5	11	9.8	9.4 0 / 4 9.4 - 11 9.9
	B O D (mg/L)	2.6	4.6	5.4	9.4 0 / 4 2.6 - 9.4 5.5
	C O D (mg/L)	8.5	12	11	13 - / 4 8.5 - 13 11
	S (mg/L)	16	26	40	16 - / 4 16 - 40 25
大腸菌群数 (MPN/100mL)		2.2×10 ⁵		1.1×10 ⁴	- / 2 1.1×10 ⁴ - 2.2×10 ⁵ 1.2×10 ⁵
全窒素 (mg/L)		0.20		0.22	- / 2 0.20 - 0.22 0.21
健康項目	全シアン (mg/L)				
	六価クロム (mg/L)				
	ヒ素 (mg/L)				
	総水銀 (mg/L)				
	アルキル水銀 (mg/L)				
	PCB (mg/L)				
	ジクロロメタン (mg/L)				
	四塩化炭素 (mg/L)				
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)				
	1,1-ジクロロエタン (mg/L)				
	トリス-1,2-ジクロロエタン (mg/L)				
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)				
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)				
	トリクロロエチレン (mg/L)				
	テトラクロロエチレン (mg/L)				
	1,3-ジクロロベンゼン (mg/L)				
チウラム (mg/L)					
シマジン (mg/L)					
チオベンカルブ (mg/L)					
ベンゼン (mg/L)					
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)					
銅 (mg/L)					
鉛 (mg/L)					
亜鉛 (mg/L)					
n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)					
フェノール類 (mg/L)					
鉄 (溶解性) (mg/L)					
マンガン (溶解性) (mg/L)					
全クロム (mg/L)					
陰イオン界面活性剤 (mg/L)					
アンモニア性窒素 (mg/L)					
硝酸性窒素 (mg/L)					
亜硝酸性窒素 (mg/L)					
リン酸性リン (mg/L)					
特定項目	トリハロメタン生成能 (mg/L)				
	クロホルム生成能 (mg/L)				
	ブromoクロホルム生成能 (mg/L)				
	ジブromoクロホルム生成能 (mg/L)				
	クロホルム生成能 (mg/L)				
	トリス-1,2-ジクロロエタン (mg/L)				
	1,2-ジクロロベンゼン (mg/L)				
	p-ジクロロベンゼン (mg/L)				
	イソキサチオン (mg/L)				
	ダイアジノン (mg/L)				
	フェニトロチオン (mg/L)				
	イソプロチオラン (mg/L)				
	オキシシン銅 (mg/L)				
	クロタロニル (mg/L)				
	プロピザミド (mg/L)				
	E P N (mg/L)				
要監視項目	ジクロルボス (mg/L)				
	フェノカルブ (mg/L)				
	イプロベンホス (mg/L)				
	クロルニトロフェン (mg/L)				
	トルエン (mg/L)				
	キシレン (mg/L)				
	フタル酸ジエチルハキシルニフタレート (mg/L)				
	モリブデン (mg/L)				
	アンチモン (mg/L)				
	塩化ビニルモノマー (mg/L)				
	エヒクロロヒドリン (mg/L)				
	1,4-ジオキサソ (mg/L)				
	全マンガン (mg/L)				
	ウラン (mg/L)				
	塩素イオン (mg/L)				
	その他項目	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)			
ATU添加BOD (mg/L)					
非イオン界面活性剤					
電気伝導率 (mS/m)					

<備考> BOD(75%値) : 5.4 (mg/L)

* 上水道水源地域

地点番号	河川名				地点名							類型		担当機関				基準点
	春木川				春木橋							E		岸和田市				基準点
採取月日	4/25	5/23	6/5	7/11	8/1	9/5	10/10	11/7	12/5	1/9	2/6	3/8	m / n	最小値	-	最大値	平均値	
採取時刻	9:00 15:00 21:36 3:43	9:09 15:04 21:15 3:10	9:13 15:03 20:55 3:23	9:10 15:48 21:06 3:04	9:07 16:14 21:12 3:32	9:05 15:12 21:35 3:34	9:55 15:34 21:40 3:00	9:18 15:34 21:18 3:47	9:32 15:02 21:10 3:18	9:24 14:59 21:05 3:10	9:12 15:10 20:58 3:01	8:52 15:15 21:24 3:01						
天候	快晴 快晴 快晴 快晴	雨 曇り 曇り 曇り	晴れ 晴れ 晴れ 晴れ	曇り 晴れ 晴れ 晴れ	晴れ 晴れ 晴れ 晴れ	曇り 曇り 曇り 曇り	晴れ 晴れ 晴れ 晴れ	晴れ 曇り 曇り 曇り	晴れ 晴れ 晴れ 晴れ	晴れ 晴れ 晴れ 晴れ	晴れ 晴れ 晴れ 晴れ	晴れ 晴れ 晴れ 晴れ	晴れ 晴れ 晴れ 晴れ					
気温(°C)	17.5 22.0 9.0 10.0	20.7 20.0 22.0 21.2	31.0 34.5 26.2 27.9	33.2 32.0 33.9 34.1	31.0 32.5 31.0 25.6	29.5 25.5 27.5 23.9	32.0 30.0 10.5 23.0	17.0 10.5 9.7 8.3	13.6 12.0 11.0 7.0	12.0 16.5 12.1 6.0	9.0 10.0 7.0 4.5	5.9 10.0 6.3 10.0		3.5	-	34.5	19.1	
水温(°C)	16.0 20.0 16.0 14.1	20.9 20.5 20.0 19.3	23.0 27.0 23.1 26.8	27.0 25.3 27.0 27.5	26.8 28.3 27.2 24.3	24.9 25.2 24.3 24.3	22.0 23.0 21.0 22.0	16.3 15.3 13.3 13.0	9.6 12.3 10.1 10.0	8.0 11.1 9.0 6.5	9.8 14.0 11.1 11.5	8.0 14.0 10.0 10.0		6.5	-	28.3	18.1	
流量(m ³ /S)	0.06 0.08 0.15 0.15	0.14 1.77 0.38 0.37	0.02 0.23 0.08 0.04	0.09 0.07 0.69 0.18	0.09 0.15 0.18 0.09	0.01 0.30 0.24 0.08	0.23 0.36 0.26 0.19	0.46 0.03 0.01 0.03	0.17 0.09 0.07 0.06	0.09 0.09 0.08 0.07	0.12 0.08 0.07 0.05	0.04 0.12 0.08 0.08		0.01	-	1.77	0.18	
透視度 臭気 色相	>30 無 淡黄	27 無 淡黄	29 無 淡黄	26 微川藻 淡黄	>30 淡黄	>30 微川藻 淡黄	20 微川藻 淡黄	26 微川藻 淡黄	>30 無	>30 微川藻 淡黄	28 微川藻 淡黄	14 微川藻 淡黄		14	-	>30	27	
生活環境項目	pH	7.3 7.4 7.2 7.2	7.0 7.1 7.0 7.1	7.1 7.2 7.0 7.1	7.2 7.4 7.2 7.4	7.4 7.4 7.2 7.4	7.3 7.5 7.2 7.3	7.2 7.2 7.2 7.2	7.3 7.2 7.2 7.2	7.3 7.2 7.2 7.2	7.3 7.4 7.2 7.2	7.2 7.2 7.2 7.2	0 / 48	7.0	-	7.7		
	DO (mg/L)	7.9	7.3	7.6	7.2	9.5	6.9	11	6.7	9.7	10	9.8	0 / 12	6.7	-	13	8.9	
	BOD (mg/L)	6.6	4.8	8.2	4.5	3.3	3.8	6.6	2.9	7.2	5.3	15	10	1 / 12	2.9	-	15	6.5
	COD (mg/L)	10	9.4	11	9.6	9.0	9.6	17	13	11	8.9	15	19	1 / 12	8.9	-	19	12
健康項目	大腸菌群数(MPN/100mL)	8	17	11	11	9	16	28	8	6	21	6	- / 2	4.9 × 10 ⁴	-	1.4 × 10 ⁵	9.5 × 10 ⁴	
	全窒素(mg/L)		3.3			1.4 × 10 ⁵			8.0				- / 4	2.9	-	8.0	5.5	
	全炭素(mg/L)		0.27			0.22			0.64				- / 4	0.22	-	0.64	0.36	
	カドミウム(mg/L)					<0.001							0 / 2	<0.001	-	<0.001	<0.001	
	全シアン(mg/L)					<0.1							0 / 2	<0.1	-	<0.1	<0.1	
	鉛(mg/L)					<0.005							0 / 2	<0.005	-	<0.005	<0.005	
	六価クロム(mg/L)					<0.02							0 / 2	<0.02	-	<0.02	<0.02	
	ヒ素(mg/L)					<0.005							0 / 2	<0.005	-	<0.005	<0.005	
	総水銀(mg/L)					<0.0005							0 / 2	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	
	アルキル水銀(mg/L)					<0.0005							0 / 2	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	
特定項目	ジクロロメタン(mg/L)					<0.002							0 / 1	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	
	四塩化炭素(mg/L)					<0.002							0 / 2	<0.002	-	<0.002	<0.002	
	1,2-ジクロロエタン(mg/L)					<0.004							0 / 2	<0.004	-	<0.004	<0.004	
	1,1-ジクロロエタン(mg/L)					<0.002							0 / 2	<0.002	-	<0.002	<0.002	
	トリス-1,2-ジクロロエタン(mg/L)					<0.004							0 / 2	<0.004	-	<0.004	<0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン(mg/L)					<0.0005							0 / 2	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン(mg/L)					<0.0006							0 / 2	<0.0006	-	<0.0006	<0.0006	
	トリクロロエチレン(mg/L)					<0.002							0 / 2	<0.002	-	<0.002	<0.002	
	テトラクロロエチレン(mg/L)					<0.0005							0 / 2	<0.0005	-	<0.0005	<0.0005	
	1,3-ジクロロプロパン(mg/L)					<0.002							0 / 1	<0.002	-	<0.002	<0.002	
	チウラム(mg/L)					<0.0006							0 / 1	<0.0006	-	<0.0006	<0.0006	
	シマジン(mg/L)					<0.0003							0 / 1	<0.0003	-	<0.0003	<0.0003	
	チオベンカルブ(mg/L)					<0.002							0 / 1	<0.002	-	<0.002	<0.002	
	ベンゼン(mg/L)					<0.002							0 / 2	<0.002	-	<0.002	<0.002	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/L)		1.3			2.1			1.2				0 / 4	1.2	-	2.1	1.5	
銅(mg/L)		0.14			0.21			0.18				0 / 4	0.10	-	0.21	0.16		
ほう素(mg/L)		0.04			0.08			0.07				0 / 4	0.04	-	0.08	0.07		
特殊項目	n-ヘキサン抽出物質(mg/L)				<0.5								1 / 2	<0.5	-	0.7	0.6	
	フェノール類(mg/L)				<0.005								0 / 2	<0.005	-	<0.005	<0.005	
	銅(mg/L)				0.011								0 / 2	<0.036	-	0.011	0.024	
	亜鉛(mg/L)				0.049								0 / 2	0.032	-	0.049	0.041	
	鉄(溶解性)(mg/L)				0.54								2 / 2	0.54	-	1.1	0.82	
	マンガン(溶解性)(mg/L)				<0.01								1 / 2	<0.01	-	0.15	0.08	
	全クロム(mg/L)				<0.03								0 / 2	<0.03	-	<0.03	<0.03	
	陰イオン界面活性剤(mg/L)				0.07								0 / 2	0.06	-	0.07	0.07	
	アモニア性窒素(mg/L)		0.39			<0.04			5.3				3 / 4	<0.04	-	5.3	2.0	
	硝酸性窒素(mg/L)		1.1			1.2			1.0				- / 4	1.0	-	1.2	1.1	
	亜硝酸性窒素(mg/L)		0.10			0.90			0.18				- / 4	0.10	-	0.90	0.33	
	リン酸性リン(mg/L)		0.051			0.085			0.046				- / 4	0.046	-	0.085	0.062	
要監視項目	トリハロメタン生成能(mg/L)																	
	クロロホルム生成能(mg/L)																	
	ブromoクロロメタン生成能(mg/L)																	
	ジブromoクロロメタン生成能(mg/L)																	
	クロロホルム生成能(mg/L)																	
	トリス-1,2-ジクロロエタン(mg/L)																	
	1,2-ジクロロプロパン(mg/L)																	
	p-ジクロロベンゼン(mg/L)																	
	イソキサチオン(mg/L)																	
	ダイアジノン(mg/L)																	
	フェニトロチオン(mg/L)																	
	イソプロチオラン(mg/L)																	
	オキシ銅(mg/L)																	
	クロロタロニル(mg/L)																	
プロピザミド(mg/L)																		
EPN(mg/L)																		
ジクロルボス(mg/L)																		
フェノカルブ(mg/L)																		
イプロベンボス(mg/L)																		
クロルニトロフェン(mg/L)																		
トルエン(mg/L)																		
キシレン(mg/L)																		
フタル酸ジエチルハキシルニフタケル(mg/L)																		
モリブデン(mg/L)																		
アンチモン(mg/L)																		
塩化ビニルモノマー(mg/L)																		
エヒクロロヒドリン(mg/L)																		
1,4-シオキサン(mg/L)																		
全マンガン(mg/L)																		
ウラン(mg/L)																		
硫酸イオン(mg/L)																		
その他項目	糞便性大腸菌群数(個/100mL)																	
	ATU添加BOD(mg/L)																	
電気伝導率(mS/m)																		

<備考> BOD(75%値) : 7.2 (mg/L)

* 上水道水源地域

地点番号	河川名	地点名			類型	担当機関			基準点	
	津田川	諸井堰			E	岸和田市				
採取月日	5/23	8/1	11/7	2/6	m / n	最小値	最大値	平均値		
採取時刻	13:09	14:04	13:55	13:02						
天候	雨	晴れ	晴れ	晴れ						
気温 ()	19.3	39.2	10.7	12.1			10.7 ~ 39.2	20.3		
水温 ()	18.3	26.1	13.8	7.9			7.9 ~ 26.1	16.5		
流量 (m3/S)	0.30	0.08	0.02	0.03			0.02 ~ 0.30	0.11		
透視度 (cm)	>30	>30	>30	>30			>30 ~ >30	>30		
臭気相 (-)	7.5	7.8	7.8	8.4	0 / 4		7.5 ~ 8.4			
生活環境項目	p H									
	D O (mg/L)	9.9	9.8	10	8.9	0 / 4	8.9 ~ 10	9.7		
	B O D (mg/L)	1.0	0.8	0.9	2.8	0 / 4	0.8 ~ 2.8	1.4		
	C O D (mg/L)	4.1	3.6	3.8	4.5	0 / 4	3.6 ~ 4.5	4.0		
健康項目	S O S (mg/L)	5	2	3	2	0 / 4	2 ~ 5	3		
	大腸菌群数 (MPN/100mL)		9.2×10 ⁴		2.4×10 ³	- / 2	2.4×10 ³ ~ 9.2×10 ⁴	4.7×10 ⁴		
	全窒素 (mg/L)		1.3		1.9	- / 2	1.3 ~ 1.9	1.6		
	全シアン (mg/L)		<0.001		<0.001	0 / 2	<0.001 ~ <0.001	<0.001		
	全鉛 (mg/L)		<0.1		<0.1	0 / 2	<0.1 ~ <0.1	<0.1		
	六価クロム (mg/L)		<0.005		<0.005	0 / 2	<0.005 ~ <0.005	<0.005		
	ヒ素 (mg/L)		<0.02		<0.02	0 / 2	<0.02 ~ <0.02	<0.02		
	総水銀 (mg/L)		<0.005		<0.005	0 / 2	<0.005 ~ <0.005	<0.005		
	アルキル水銀 (mg/L)		<0.0005		<0.0005	0 / 2	<0.0005 ~ <0.0005	<0.0005		
	P C B (mg/L)		<0.0005		<0.0005	0 / 1	<0.0005 ~ <0.0005	<0.0005		
	ジクロロメタン (mg/L)		<0.002		<0.002	0 / 2	<0.002 ~ <0.002	<0.002		
	四塩化炭素 (mg/L)		<0.0002		<0.0002	0 / 2	<0.0002 ~ <0.0002	<0.0002		
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)		<0.0004		<0.0004	0 / 2	<0.0004 ~ <0.0004	<0.0004		
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.002		<0.002	0 / 2	<0.002 ~ <0.002	<0.002		
	トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.004		<0.004	0 / 2	<0.004 ~ <0.004	<0.004		
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0005		<0.0005	0 / 2	<0.0005 ~ <0.0005	<0.0005			
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0006		<0.0006	0 / 2	<0.0006 ~ <0.0006	<0.0006			
トリクロロエチレン (mg/L)		<0.002		<0.002	0 / 2	<0.002 ~ <0.002	<0.002			
テトラクロロエチレン (mg/L)		<0.0005		<0.0005	0 / 2	<0.0005 ~ <0.0005	<0.0005			
1,3-ジクロロプロパン (mg/L)		<0.0002		<0.0002	0 / 1	<0.0002 ~ <0.0002	<0.0002			
チウラム (mg/L)		<0.0006		<0.0006	0 / 1	<0.0006 ~ <0.0006	<0.0006			
シマジン (mg/L)		<0.0003		<0.0003	0 / 1	<0.0003 ~ <0.0003	<0.0003			
チオベンカルブ (mg/L)		<0.002		<0.002	0 / 1	<0.002 ~ <0.002	<0.002			
ベンゼン (mg/L)		<0.001		<0.001	0 / 2	<0.001 ~ <0.001	<0.001			
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)		0.99		1.1	0 / 2	0.99 ~ 1.1	1.0			
ふっ素 (mg/L)		0.18		0.11	0 / 2	0.11 ~ 0.18	0.15			
ほう素 (mg/L)		0.05		0.03	0 / 2	0.03 ~ 0.05	0.04			
特殊項目	n-ハキサン抽出物質 (mg/L)		<0.5		<0.5	0 / 2	<0.5 ~ <0.5	<0.5		
	フェノール類 (mg/L)									
	銅 (mg/L)									
	鉄(溶解性) (mg/L)									
	マンガン(溶解性) (mg/L)									
	全クロム (mg/L)									
	陰イオン界面活性剤 (mg/L)									
アンモニア性窒素 (mg/L)										
硝酸性窒素 (mg/L)		0.97		1.1	- / 2	0.97 ~ 1.1	1.0			
亜硝酸性窒素 (mg/L)		<0.04		<0.04	- / 2	<0.04 ~ <0.04	<0.04			
リン酸性リン (mg/L)										
特定項目	トリハロメタン生成能 (mg/L)									
	クロロホルム生成能 (mg/L)									
	ブromoクロロメタン生成能 (mg/L)									
	ジブromoクロロメタン生成能 (mg/L)									
	クロロホルム生成能 (mg/L)									
	トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)									
	1,2-ジクロロプロパン (mg/L)									
	p-ジクロロベンゼン (mg/L)									
	イソキサチオン (mg/L)									
	ダイアジノン (mg/L)									
	フェントロチオン (mg/L)									
	イソプロチオラン (mg/L)									
	オキシ銅 (mg/L)									
	クロタロニル (mg/L)									
	プロピザミド (mg/L)									
要監視項目	E P N (mg/L)									
	ジクロロボス (mg/L)									
	フェノカルブ (mg/L)									
	イプロベンホス (mg/L)									
	クロロニトロフェン (mg/L)									
	トルエン (mg/L)									
	キシレン (mg/L)									
	フタル酸ジエチルハキシルニフタール (mg/L)									
	モリブデン (mg/L)									
	アンチモン (mg/L)									
	塩化ビニルモノマー (mg/L)									
	エヒクロロヒドリン (mg/L)									
	1,4-ジオキサソ (mg/L)									
	全マンガン (mg/L)									
	ウラン (mg/L)									
その他項目	塩素イオン (mg/L)									
	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)									
	ATU添加BOD (mg/L)									
非イオン界面活性剤										
電気伝導率 (mS/m)										

<備考> BOD(75%値) : 1.0 (mg/L)

* 上水道水源地域

地点番号	河川名	地点名	類型	担当機関	基準点	
	津田川	虎橋	E	岸和田市		
採取月日	5/23	8/1	11/7	2/6	m / n 最小値 - 最大値 平均値	
採取時刻	14:00	14:58	14:36	13:43		
天候	雨	晴れ	晴れ	晴れ		
気温 ()	19.2	37.6	15.0	11.5	11.5 - 37.6 20.8	
水温 ()	18.3	27.8	16.1	12.5	12.5 - 27.8 18.7	
流量 (m3/S)	0.37	0.01	0.03	0.00	0.00 - 0.37 0.10	
透視度 (cm)	>30	>30	14	>30	14 - >30 26	
臭気相色	無淡黄	微川藻淡黄	微川藻濃黄褐色	微川藻淡黄		
pH ()	7.6	8.1	7.6	7.9	0 / 4 7.6 - 8.1	
生活環境項目	D O (mg/L)	9.0	12	9.7	14	0 / 4 9.0 - 14 11
	B O D (mg/L)	2.1	4.0	10	6.1	0 / 4 2.1 - 10 5.6
	C O D (mg/L)	5.7	10	30	9.4	0 / 4 5.7 - 30 14
	S (mg/L)	8	21	82	6	0 / 4 6 - 82 29
健康項目	大腸菌群数 (MPN/100mL)		3.5×10 ³		1.3×10 ⁴	- / 2 3.5×10 ³ - 1.3×10 ⁴ 8.3×10 ³
	全窒素 (mg/L)		3.4		4.3	- / 2 3.4 - 4.3 3.9
	全燐 (mg/L)		0.32		0.22	- / 2 0.22 - 0.32 0.27
	カドミウム (mg/L)		<0.001		<0.001	0 / 2 <0.001 - <0.001 <0.001
	全シアン (mg/L)		<0.1		<0.1	0 / 2 <0.1 - <0.1 <0.1
	鉛 (mg/L)		<0.005		<0.005	0 / 2 <0.005 - <0.005 <0.005
	六価クロム (mg/L)		<0.02		<0.02	0 / 2 <0.02 - <0.02 <0.02
	ヒ素 (mg/L)		<0.005		<0.005	0 / 2 <0.005 - <0.005 <0.005
	総水銀 (mg/L)		<0.0005		<0.0005	0 / 2 <0.0005 - <0.0005 <0.0005
	アルキル水銀 (mg/L)		<0.0005		<0.0005	0 / 2 <0.0005 - <0.0005 <0.0005
	ジクロロメタン (mg/L)		<0.0005		<0.0005	0 / 1 <0.0005 - <0.0005 <0.0005
	四塩化炭素 (mg/L)		<0.002		<0.002	0 / 2 <0.002 - <0.002 <0.002
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)		<0.004		<0.004	0 / 2 <0.004 - <0.004 <0.004
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.002		<0.002	0 / 2 <0.002 - <0.002 <0.002
	トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		<0.004		<0.004	0 / 2 <0.004 - <0.004 <0.004
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0005		<0.0005	0 / 2 <0.0005 - <0.0005 <0.0005	
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		<0.0006		<0.0006	0 / 2 <0.0006 - <0.0006 <0.0006	
トリクロロエチレン (mg/L)		<0.002		<0.002	0 / 2 <0.002 - <0.002 <0.002	
テトラクロロエチレン (mg/L)		<0.0005		<0.0005	0 / 2 <0.0005 - <0.0005 <0.0005	
1,3-ジクロロプロパン (mg/L)		<0.0002		<0.0002	0 / 1 <0.0002 - <0.0002 <0.0002	
チウラム (mg/L)		<0.0006		<0.0006	0 / 1 <0.0006 - <0.0006 <0.0006	
シマジン (mg/L)		<0.0003		<0.0003	0 / 1 <0.0003 - <0.0003 <0.0003	
チオベンカルブ (mg/L)		<0.002		<0.002	0 / 1 <0.002 - <0.002 <0.002	
ベンゼン (mg/L)		<0.002		<0.002	0 / 2 <0.002 - <0.002 <0.002	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)		2.9		1.8	0 / 2 1.8 - 2.9 2.4	
銅 (mg/L)		0.15		0.12	0 / 2 0.12 - 0.15 0.14	
ほう素 (mg/L)		0.09		0.07	0 / 2 0.07 - 0.09 0.08	
特殊項目	n-ハキサン抽出物質 (mg/L)		<0.5		0.5	1 / 2 <0.5 - 0.5 0.5
	フェノール類 (mg/L)					
	銅 (mg/L)					
	鉄 (溶解性) (mg/L)					
	マンガン (溶解性) (mg/L)					
	全クロム (mg/L)					
	陰イオン界面活性剤 (mg/L)					
	アンモニア性窒素 (mg/L)					
	硝酸性窒素 (mg/L)		2.9		1.6	- / 2 1.6 - 2.9 2.3
	亜硝酸性窒素 (mg/L)		<0.04		0.15	- / 2 <0.04 - 0.15 0.10
	リン酸性リン (mg/L)					
特定項目	トリハロメタン生成能 (mg/L)					
	クロロホルム生成能 (mg/L)					
	ブromoクロロメタン生成能 (mg/L)					
	ジブロモクロロメタン生成能 (mg/L)					
	クロロホルム生成能 (mg/L)					
	トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)					
	1,2-ジクロロプロパン (mg/L)					
	p-ジクロロベンゼン (mg/L)					
	イソキサチオン (mg/L)					
	ダイアジノン (mg/L)					
	フェニトロチオン (mg/L)					
	イソプロチオラン (mg/L)					
	オキシシン銅 (mg/L)					
	クロタロニル (mg/L)					
	プロピザミド (mg/L)					
E P N (mg/L)						
シクロルボス (mg/L)						
フェノカルブ (mg/L)						
イプロベンホス (mg/L)						
クロロニトロフェン (mg/L)						
トルエン (mg/L)						
キシレン (mg/L)						
フタル酸ジエチルハキシルニフタケル (mg/L)						
モリブデン (mg/L)						
アンチモン (mg/L)						
塩化ビニルモノマー (mg/L)						
エヒクロロヒドリン (mg/L)						
1,4-ジオキサソ (mg/L)						
全マンガン (mg/L)						
ウラン (mg/L)						
塩素イオン (mg/L)						
その他項目	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)					
	A T U 添加 B O D (mg/L)					
	非イオン界面活性剤					
	電気伝導率 (mS/m)					

<備考> BOD(75%値) : 6.1 (mg/L)

* 上水道水源地域

地点番号	河川名	地点名			類型	担当機関			基準点	
	新天ノ川	天川橋			-	岸和田市				
採取月日	5/23	8/1	11/7	2/6	m / n	最小値	最大値	平均値		
採取時刻	9:34	9:45	9:49	9:30						
天候	雨	晴れ	晴れ	晴れ						
気温 ()	20.7	33.0	15.7	9.0		9.0	33.0	19.6		
水温 ()	19.3	25.3	15.3	8.8		8.8	25.3	17.2		
流量 (m ³ /S)	0.19	0.13	0.01	0.16		0.01	0.19	0.12		
透視度 (cm)	>30	>30	>30	14		14	>30	26		
臭気相色	無淡黄	無淡黄	無淡黄	微川藻淡黄						
pH ()	7.4	7.5	7.7	7.6	0 / 4	7.4	7.7			
生活環境項目	D O (mg/L)	9.0	9.8	9.3	12	0 / 4	9.0	12	10	
	B O D (mg/L)	2.2	1.9	3.9	8.1	0 / 4	1.9	8.1	4.0	
	C O D (mg/L)	6.8	7.0	9.5	10	- / 4	6.8	10	8.3	
	S (mg/L)	4	3	5	98	0 / 4	3	98	28	
	大腸菌群数 (MPN/100mL)		1.1×10 ⁴		1.7×10 ⁴	- / 2	1.1×10 ⁴	1.7×10 ⁴	1.4×10 ⁴	
	全窒素 (mg/L)		0.075		0.24	- / 2	0.075	0.24	0.16	
	全シアン (mg/L)									
	六価クロム (mg/L)									
	ヒ素 (mg/L)									
	総水銀 (mg/L)									
健康項目	アルキル水銀 (mg/L)									
	ジクロロメタン (mg/L)									
	四塩化炭素 (mg/L)									
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)									
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)									
	トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)									
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)									
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)									
	トリクロロエチレン (mg/L)									
	テトラクロロエチレン (mg/L)									
特殊項目	1,3-ジクロロプロパン (mg/L)									
	チウラム (mg/L)									
	シマジン (mg/L)									
	チオベンカルブ (mg/L)									
	ベンゼン (mg/L)									
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)									
	銅 (mg/L)									
	鉛 (mg/L)									
	鉄 (溶解性) (mg/L)									
	マンガン (溶解性) (mg/L)									
特定項目	全クロム (mg/L)									
	陰イオン界面活性剤 (mg/L)									
	アンモニア性窒素 (mg/L)									
	硝酸性窒素 (mg/L)									
	亜硝酸性窒素 (mg/L)									
	リン酸性リン (mg/L)									
	トリハロメタン生成能 (mg/L)									
	クロホルム生成能 (mg/L)									
	ブロモクロホルム生成能 (mg/L)									
	ジブロモクロホルム生成能 (mg/L)									
要監視項目	クロホルム生成能 (mg/L)									
	トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)									
	1,2-ジクロロプロパン (mg/L)									
	p-ジクロロベンゼン (mg/L)									
	イソキサチオン (mg/L)									
	ダイアジノン (mg/L)									
	フェニトロチオン (mg/L)									
	イソプロチオラン (mg/L)									
	オキシシン銅 (mg/L)									
	クロタロニル (mg/L)									
その他項目	プロピザミド (mg/L)									
	E P N (mg/L)									
	シクロルボス (mg/L)									
	フェノカルブ (mg/L)									
	イプロベンホス (mg/L)									
	クロルニトロフェン (mg/L)									
	トルエン (mg/L)									
	キシレン (mg/L)									
	フタル酸ジエチルハキシルニフタケル (mg/L)									
	モリブデン (mg/L)									
アンチモン (mg/L)										
塩化ビニルモノマー (mg/L)										
エヒクロロヒドリン (mg/L)										
1,4-ジオキサソ (mg/L)										
全マンガン (mg/L)										
ウラン (mg/L)										
塩素イオン (mg/L)										
糞便性大腸菌群数 (個/100mL)										
A T U 添加 B O D (mg/L)										
非イオン界面活性剤										
電気伝導率 (mS/m)										

<備考> BOD(75%値) : 3.9 (mg/L)

* 上水道水源地域

地点番号	河川名	地点名			類型	担当機関		基準点	
	古城川	上町橋			-	岸和田市			
採取月日	5/23	8/1	11/7	2/6	m / n	最小値	最大値	平均値	
採取時刻	14:26	15:43	15:02	14:05					
天候	雨	晴れ	晴れ	薄曇り					
気温 ()	21.2	32.8	11.5	15.5		11.5	32.8	20.3	
水温 ()	21.5	29.8	13.3	14.0		13.3	29.8	19.7	
流量 (m ³ /S)	0.26	0.18	0.03	0.01		0.01	0.26	0.12	
透視度 (cm)	>30	>30	9	>30		9	>30	25	
臭気相色	無淡黄	無淡黄	微川藻濃黄褐色	微川藻淡黄					
pH ()	7.0	8.5	7.4	7.4	0 / 4	7.0	8.5		
生活環境項目	D O (mg/L)	7.7	8.6	9.7	13	0 / 4	7.7	13	9.8
	B O D (mg/L)	4.5	1.5	21	15	0 / 4	1.5	21	11
	C O D (mg/L)	13	6.9	36	17	- / 4	6.9	36	18
	S (mg/L)	23	3	93	10	0 / 4	3	93	33
	大腸菌群数 (MPN/100mL)		3.5×10 ³		3.3×10 ⁴	- / 2	3.5×10 ³	3.3×10 ⁴	1.8×10 ⁴
健康項目	全窒素 (mg/L)		0.23		0.70	- / 2	0.23	0.70	0.47
	全シアン (mg/L)								
	六価クロム (mg/L)								
	ヒ素 (mg/L)								
	総水銀 (mg/L)								
	アルキル水銀 (mg/L)								
	ジクロロメタン (mg/L)								
	四塩化炭素 (mg/L)								
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)								
	1,1-ジクロロエタン (mg/L)								
	トリス-1,2-ジクロロエタン (mg/L)								
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)								
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)								
	トリクロロエチレン (mg/L)								
	テトラクロロエチレン (mg/L)								
1,3-ジクロロプロパン (mg/L)									
チウラム (mg/L)									
シマジン (mg/L)									
チオベンカルブ (mg/L)									
ベンゼン (mg/L)									
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)									
銅 (mg/L)									
鉛 (mg/L)									
亜鉛 (mg/L)									
鉄 (溶解性) (mg/L)									
マンガン (溶解性) (mg/L)									
全クロム (mg/L)									
陰イオン界面活性剤 (mg/L)									
アンモニア性窒素 (mg/L)									
硝酸性窒素 (mg/L)									
亜硝酸性窒素 (mg/L)									
リン酸性リン (mg/L)									
特定項目	トリハロメタン生成能 (mg/L)								
	クロホルム生成能 (mg/L)								
	ブロモクロホルム生成能 (mg/L)								
	ジブロモクロホルム生成能 (mg/L)								
	クロホルム生成能 (mg/L)								
要監視項目	トリス-1,2-ジクロロエタン (mg/L)								
	1,2-ジクロロプロパン (mg/L)								
	p-ジクロロベンゼン (mg/L)								
	イソキサチオン (mg/L)								
	ダイアジノン (mg/L)								
	フェントロチオン (mg/L)								
	イソプロチオラン (mg/L)								
	オキシシン銅 (mg/L)								
	クロタロニル (mg/L)								
	プロピザニド (mg/L)								
	E P N (mg/L)								
	ジクロルボス (mg/L)								
	フェノカルブ (mg/L)								
	イプロベンホス (mg/L)								
	クロルニトロフェン (mg/L)								
その他項目	トルエン (mg/L)								
	キシレン (mg/L)								
	フタル酸ジエチルハキシルニフタケル (mg/L)								
	モリブデン (mg/L)								
	アンチモン (mg/L)								
	塩化ビニルモノマー (mg/L)								
	エヒクロロヒドリン (mg/L)								
	1,4-ジオキサソ (mg/L)								
	全マンガン (mg/L)								
	ウラン (mg/L)								
環境イオン (mg/L)									
糞便性大腸菌群数 (個/100mL)									
ATU添加BOD (mg/L)									
非イオン界面活性剤									
電気伝導率 (mS/m)									

<備考> BOD(75%値) : 15 (mg/L)

* 上水道水源地域

地下水

水質汚濁防止法第 15 条の規定により、市内の地下水の水質汚濁状況を監視しています。地下水の調査は、概況調査、定期モニタリング調査及び汚染井戸周辺地区調査の 3 種類があり、各調査の目的及び結果は次のとおりです。

概況調査

市域の全体的な地下水質の概況を把握するため、市域を約 1 km メッシュに区分し、順番に調査しています。平成 18 年度は春木大小路町、八幡町、内畑町の 3 地点で調査を実施しました。八幡町以外の調査地点では環境基準を達成しました。

定期モニタリング調査

これまでの調査で汚染が確認された地点を継続的に監視するため、5 地点で調査を実施しました。調査結果は、岸城町及び南町でシス -1,2 -ジクロロエチレンが環境基準を引き続き超過していました。引き続き汚染状況の動向調査を行っていきます。

汚染井戸周辺地区調査

概況調査等により新たに地下水汚染が発見された場合や土壌汚染調査により土壌汚染が発見された場合、その汚染範囲を確定するために実施する調査です。平成 18 年度は八幡町で実施した概況調査で、環境基準を超える硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が検出されたため、汚染原因と汚染範囲を特定するため 91 本の井戸水を分析するとともに、事業所調査を行った結果、原因は農業や家庭菜園での施肥などによるものと考えられました。今後、汚染が発見された井戸については定期モニタリングとして継続調査を行います。

地下水測定地点別データ

(1) 概況調査

測定地点		環境基準	八幡町		春木大小路町		内畑町		報告下限値
採取月日			10/10	適否	10/10	適否	10/10	適否	
pH (pH)			7.2		6.6		6.7		
健康項目	カドミウム (mg/L)	0.01 以下	< 0.001		< 0.001		< 0.001		0.001
	全シアン (mg/L)	検出されないこと	検出されず		検出されず		検出されず		0.1
	鉛 (mg/L)	0.01 以下	< 0.005		< 0.005		< 0.005		0.005
	六価クロム (mg/L)	0.05 以下	< 0.02		< 0.02		< 0.02		0.02
	砒素 (mg/L)	0.01 以下	< 0.005		< 0.005		< 0.005		0.005
	総水銀 (mg/L)	0.0005 以下	< 0.0005		< 0.0005		< 0.0005		0.0005
	アルキル水銀 (mg/L)	検出されないこと							0.0005
	P C B (mg/L)	検出されないこと	検出されず		検出されず		検出されず		0.0005
	ジクロロメタン (mg/L)	0.02 以下	< 0.002		< 0.002		< 0.002		0.002
	四塩化炭素 (mg/L)	0.002 以下	< 0.0002		< 0.0002		< 0.0002		0.0002
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.004 以下	< 0.0004		< 0.0004		< 0.0004		0.0004
	1,1-ジクロロエタン (mg/L)	0.02 以下	< 0.002		< 0.002		< 0.002		0.002
	1,1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.04 以下	< 0.004		< 0.004		< 0.004		0.004
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1 以下	< 0.0005		< 0.0005		< 0.0005		0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.006 以下	< 0.0006		< 0.0006		< 0.0006		0.0006
	トリクロロエチレン (mg/L)	0.03 以下	< 0.002		< 0.002		< 0.002		0.002
	テトラクロロエチレン (mg/L)	0.01 以下	0.0005		< 0.0005		< 0.0005		0.0005
	1,3-ジクロロベンゼン (mg/L)	0.002 以下	< 0.0002		< 0.0002		< 0.0002		0.0002
	チウラム (mg/L)	0.006 以下	< 0.0006		< 0.0006		< 0.0006		0.0006
	シマジン (mg/L)	0.003 以下	< 0.0003		< 0.0003		< 0.0003		0.0003
チオベンカルブ (mg/L)	0.02 以下	< 0.002		< 0.002		< 0.002		0.002	
ベンゼン (mg/L)	0.01 以下	< 0.001		< 0.001		< 0.001		0.001	
セレン (mg/L)	0.01 以下	< 0.002		< 0.002		< 0.002		0.002	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	10 以下	15	×	7.1		1.4		0.08	
ふっ素 (mg/L)	0.8 以下	< 0.08		< 0.08		< 0.08		0.08	
ほう素 (mg/L)	1 以下	0.08		0.09		0.07		0.02	
硝酸性窒素 (mg/L)		15		7.1		1.4		0.04	
亜硝酸性窒素 (mg/L)		< 0.04		< 0.04		< 0.04		0.04	

<備考>

○は基準値に適合、×は基準値に不適合を示します。

(2) 定期モニタリング調査

測定地点		環境基準	西大路町		岸城町		南町		尾生町		今木町		報告下限値
採取月日			10/11	適否	10/11	適否	10/11	適否	10/11	適否	10/11	適否	
pH (pH)			6.2		6.4		6.3		5.4		7.3		
健康項目	カドミウム (mg/L)	0.01 以下											0.001
	全シアン (mg/L)	検出されないこと											0.1
	鉛 (mg/L)	0.01 以下											0.005
	六価クロム (mg/L)	0.05 以下											0.02
	砒素 (mg/L)	0.01 以下											0.005
	総水銀 (mg/L)	0.0005 以下							0.0005				0.0005
	アルキル水銀 (mg/L)	検出されないこと							検出されず				0.0005
	P C B (mg/L)	検出されないこと											0.0005
	ジクロロメタン (mg/L)	0.02 以下											0.002
	四塩化炭素 (mg/L)	0.002 以下											0.0002
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.004 以下											0.0004
	1,1-ジクロロエタン (mg/L)	0.02 以下	< 0.002		< 0.002		< 0.002				< 0.002		0.002
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.04 以下	0.020		0.061	x	0.28	x			< 0.004		0.004
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1 以下	< 0.0005		< 0.0005		< 0.0005				< 0.0005		0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.006 以下											0.0006
	トリクロロエチレン (mg/L)	0.03 以下	< 0.002		0.010		0.008				< 0.002		0.002
	テトラクロロエチレン (mg/L)	0.01 以下	< 0.0005		0.0040		< 0.0005				< 0.0005		0.0005
	1,3-ジクロロプロパン (mg/L)	0.002 以下											0.0002
	チウラム (mg/L)	0.006 以下											0.0006
	シマジン (mg/L)	0.003 以下											0.0003
チオベンカルブ (mg/L)	0.02 以下											0.002	
ベンゼン (mg/L)	0.01 以下											0.001	
セレン (mg/L)	0.01 以下											0.002	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	10 以下	< 0.04		6.0		2.1		8.8		1.8		0.08	
ふっ素 (mg/L)	0.8 以下											0.08	
ほう素 (mg/L)	1 以下											0.02	
硝酸性窒素 (mg/L)		< 0.04		6.0		2.1		8.8		1.8		0.04	
亜硝酸性窒素 (mg/L)		< 0.04		< 0.04		< 0.04		< 0.04		< 0.04		0.04	

<備考>

○は基準値に適合、×は基準値に不適合を示します。

・ダイオキシン類

環境濃度調査

ダイオキシン類は毒性が強いため健康影響の未然防止上、対策が必要な環境汚染物質です。市内の一般環境中におけるダイオキシン類濃度調査を継続して行っています。

すべての調査地点において環境基準を達成しています。引き続き、監視のための動向調査等を行っていきます。

ダイオキシン類調査結果

項目	調査地点	調査機関	調査結果	環境基準 達成状況	環境基準
環境大気	大北下水 ポンプ場	岸和田市	0.16		0.6pg -TEQ/m ³
	岸和田市中央公園	大阪府	0.065		
河川水質	牛滝川 新大路橋	岸和田市	0.30		1pg - TEQ/L
	小湊川	岸和田市	0.81		
	春木川春木橋	大阪府	0.76		
底質	春木川春木橋	大阪府	0.54		150pg -TEQ/g
地下水質	稲葉町	大阪府	0.10		1pg - TEQ/L
土壌	松風公園	岸和田市	9.3		1000pg -TEQ/g
	畑町公園	岸和田市	4.8		
	八木運動広場	大阪府	4.9		

注) TEQ: 毒性等量のこと。ダイオキシン類の量をダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの量に換算して表したものの。

・公害に関する苦情

苦情件数

近年の苦情は、市民の住環境に対する意識の高まりを反映して、都市生活に起因するものや感覚・心理的なものまで多様化してきており、典型7公害（大気汚染・水質汚濁・騒音・振動・土壌汚染・地盤沈下）のみならず空き地の雑草、不法投棄等広範囲に及んでいます。これら市民から寄せられる苦情には、敏速かつ適正な処理を行い、その解決に努めています。

平成18年度に新たに寄せられた公害苦情は228件あり（平成17年度は190件）、その内訳は大気汚染が81件（35%）と最も多く、次いで典型7公害に属さないその他の苦情が56件（25%）、騒音41件（18%）、悪臭、水質汚濁、振動の順になっています。このうち、悪臭については、規制物質以外によるものが多くその対策として、臭気指数による新たな規制が望まれてきています。土壌汚染や地盤沈下に係る苦情は寄せられていません。

